

平成 27 年 4 月 9 日

## お 知 ら せ

件 名	平成 27 年度北海道開発局関係予算について
-----	------------------------

### お知らせ内容

平成 27 年度北海道開発局関係予算について、別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 別紙のとおり

平成27年4月9日

平成27年度北海道開発局関係予算 プレス投げ込み問い合わせ先

全体	開発監理部	開発計画課	開発企画官	宮藤 秀之	(内線5462)
			課長補佐	斉藤 幸裕	(内線5463)
			調査専門官	八柳 慎	(内線5855)
			予算第1係長	大窪 文彦	(内線5465)
治水・海岸関係	建設部	河川計画課	課長補佐	大東 淳一	(内線5294)
			課長補佐	岡部 博一	(内線5295)
		地方整備課	地域事業管理官	堀田 伸之	(内線5672)
道路関係	建設部	道路計画課	課長補佐	草野 真一	(内線5355)
			課長補佐	近添 幸司	(内線5356)
		道路維持課	課長補佐	河上 聖典	(内線5383)
			課付	森山 崇	(内線5821)
		地方整備課	地域事業管理官	堀田 伸之	(内線5672)
住宅・市街地整備 ・公園関係	事業振興部	都市住宅課	都市事業管理官(公園) (市街地)	篠宮 章浩	(内線5874)
			まちづくり事業推進官(市街地) (住宅)	吉田 欣也	(内線5866)
港湾関係	港湾空港部	港湾計画課	課長補佐	熊野 哲也	(内線5614)
空港関係	港湾空港部	空港課	課長補佐	今 宗紀	(内線5632)
農業関係	農業水産部	農業計画課	事業計画推進官	松野 康夫	(内線5513)
水産関係	農業水産部	水産課	課長補佐	星 道太	(内線5593)
社会資本総合整備関係	開発監理部	開発調整課	課長補佐	貴田 勝太郎	(内線5494)
	事業振興部	都市住宅課	都市事業管理官	篠宮 章浩	(内線5874)
			まちづくり事業推進官	吉田 欣也	(内線5866)
	建設部	地方整備課	地域事業管理官	堀田 伸之	(内線5672)
	港湾空港部	港湾計画課	課長補佐	熊野 哲也	(内線5614)
営繕関係	営繕部	営繕計画課	課長補佐	熊崎 博久	(内線5723)

平成27年度 北海道開発局関係予算総括表（事業費）

【直 轄】

（単位：百万円）

事 項	予 算 額	一括配分額	備 考
治 水	71,937	16,116	
海 岸	470	0	
道 路	183,856	74,641	
港 湾 整 備	13,981	2,449	
空 港 整 備	4,585	0	
都 市 水 環 境	767	764	
国 営 公 園 等	949	0	
農 業 農 村 整 備	56,771	0	
水 産 基 盤 整 備	16,160	0	
官 庁 営 繕	670	508	
合 計	350,145	94,478	

- 注 1. 農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない。  
 2. 予算額には、復旧・復興対策事業を含む。  
 3. 計数整理の結果、異動を生じることがある。  
 4. 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

平成27年度 北海道開発局関係予算総括表（事業費）

【補助】

（単位：百万円）

事 項	予 算 額	一括配分額	備 考
治 水	8,926	490	
道 路	4,375	3,330	
住 宅	8,686	8,686	
市 街 地 整 備	8,056	0	
農 業 農 村 整 備	24,707	0	
水 産 基 盤 整 備	16,230	0	
社 会 資 本 総 合 整 備	215,431	0	
社会資本整備総合交付金	98,603	0	
防 災 ・ 安 全 交 付 金	116,828	0	
合 計	286,412	12,506	

- 注 1. 北海道開発事業費には農山漁村地域整備交付金が計上されている。  
 2. 予算額には、全国防災及び復旧・復興対策事業を含む。  
 3. 計数整理の結果、異動を生じることがある。  
 4. 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

<参考資料>

平成27年度

北海道開発局事業概要  
(事業別)

平成27年4月

国土交通省北海道開発局

# < 目 次 >

1. 治水関係事業	・ ・ ・ P 1
2. 道路事業	・ ・ ・ P 1 1
3. 港湾整備事業	・ ・ ・ P 3 0
4. 空港整備事業	・ ・ ・ P 3 4
5. 農業農村整備事業	・ ・ ・ P 3 7
6. 水産基盤整備事業	・ ・ ・ P 4 0
7. 官庁営繕事業	・ ・ ・ P 4 2
(参考) 北海道開発計画調査	・ ・ ・ P 4 3
(参考) 平成27年度 道路の主な開通予定	・ ・ ・ P 4 4

# 1. 治水関係事業

## 1 安全・安心な国土の形成

### (1) 頻発する自然災害に備える防災対策の推進

#### ① 千歳川流域の治水対策の推進

千歳川の治水対策は、発展の著しい道央圏の防災対策として緊急を要する重要な課題であり、平成17年4月に策定された千歳川河川整備計画に基づき、石狩川の高い水位の影響を長時間受けることに対応した堤防の整備や河道掘削及び遊水地群の整備等を推進します。



千歳川遊水地群の整備

#### ② 石狩川流域の治水対策の推進

石狩川下流域には道都札幌市等が位置し、北海道の社会、経済の中核となっているほか、流域内の広大な農地は我が国固有数の食料供給地です。特に昭和56年8月洪水時には、甚大な浸水被害が発生しました。この戦後最大規模の洪水から石狩川下流域を防御するため、北村遊水地の整備を推進します。



北村遊水地の整備

#### ③ 大都市地域で壊滅的な被害を防止するための治水対策の推進

洪水時に堤防が決壊すると壊滅的な被害が予想される札幌都市圏を貫流する豊平川において、流下能力不足となっている下流部の河道掘削等を推進します。



豊平川の河川改修

#### ④ 堤防の緊急点検結果に基づく対策の推進

近年の水害の発生状況等を踏まえ、堤防の緊急点検結果に基づく緊急対策等、同様な被害の防止・軽減を図るため、石狩川、十勝川等において堤防の整備等の予防的な治水対策を推進します。

⑤ 多目的ダム建設の推進

洪水から人命、財産を守り、水道用水等の新規利水の需要に対応し、安定した川の流れの確保による農業用水の安定供給や動植物を保全する多目的ダムの建設について、サンルダム、平取ダム（沙流川総合開発）、新桂沢ダム及び三笠ぼんべつダム（幾春別川総合開発）の早期完成に向けて推進します。



サンルダム（本体工事）

⑥ 火山噴火等に備えた土砂災害対策の推進

噴火による大規模な災害が発生するおそれのある樽前山・十勝岳において、火山砂防事業を重点的に推進します。

上流域の土地荒廃が著しく、流出する土砂が下流域に被害を及ぼすおそれのある石狩川上流域・豊平川・札内川において砂防事業を推進します。



樽前山<sup>おぼつが</sup>覚生川砂防堰堤群の整備

⑦ 海岸侵食対策の推進

北海道の物流の要である苫小牧港の西側に位置し、背後には重要交通網の国道36号、JR室蘭本線が隣接するとともに、それらに面して住宅が密集している胆振海岸において、海岸侵食対策として人工リーフ整備を推進します。



胆振海岸（白老工区）人工リーフ

⑧ 河川管理施設の戦略的な維持管理・更新の推進

河川の維持管理では一級河川13水系の大臣区間における、ダム・排水ポンプ・樋門等の操作、河川管理施設の機能の維持や損傷した施設の機能回復のため、巡視、点検、補修等を推進します。効率的な維持管理として、ダムに支障となる流木処理、堤防点検のための堤防除草、ボランティアによる河川清掃等についてコスト縮減も含めた地域還元や地域連携を積極的に推進します。

また、既存施設が機能発揮するよう、コスト縮減に努め適切な維持管理を行うとともに、更新が必要な施設の増大が見込まれることから既存施設の長寿命化対策を推進します。



施設の点検（樋門）



施設の点検（ダムゲート）



ボランティア河川清掃



## (2) ハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策の推進

### 大規模災害に備えた危機管理体制の強化

頻発する災害に備え、減災に不可欠な防災力の向上（自助・共助・公助）を目指し、各自治体に対して災害対策に関する各種支援を行うことを目的として設置された「河川災害情報普及支援室」を窓口として、市町村が行うハザードマップ作成への支援、住民参加型の防災訓練等を行います。

また、近年の集中豪雨や局所的な降雨（いわゆるゲリラ豪雨）に対し、適切な河川管理や防災活動等に役立てるため、局所的な豪雨を詳細かつ精度良く観測可能なXRAINにより危機管理に努めるとともに、防災情報収集のための機器整備を行います。



XRAIN石狩局

## 2 個性あふれる地域の活性化

### (1) 道内各地域のポテンシャルを活かした地方活性化等

#### ① 河川環境の保全・再生の推進

北海道の恵まれた自然環境の保全・再生を図るため、地域住民、NPO、学識経験者、関係機関等が連携・協働し、各種施策を推進します。

近年、流域の発展に伴い湿原面積が著しく減少している釧路湿原において、久著呂川における湿原中心部への土砂流入の抑制及び幌呂地区の湿原再生等を引き続き推進します。

このほか、天塩川下流地区において汽水環境の再生、十勝川の札内川地区において礫河原の再生を引き続き推進します。さらに、平成27年度から石狩川下流（幌向地区）において、湿原等の回復に着手します。



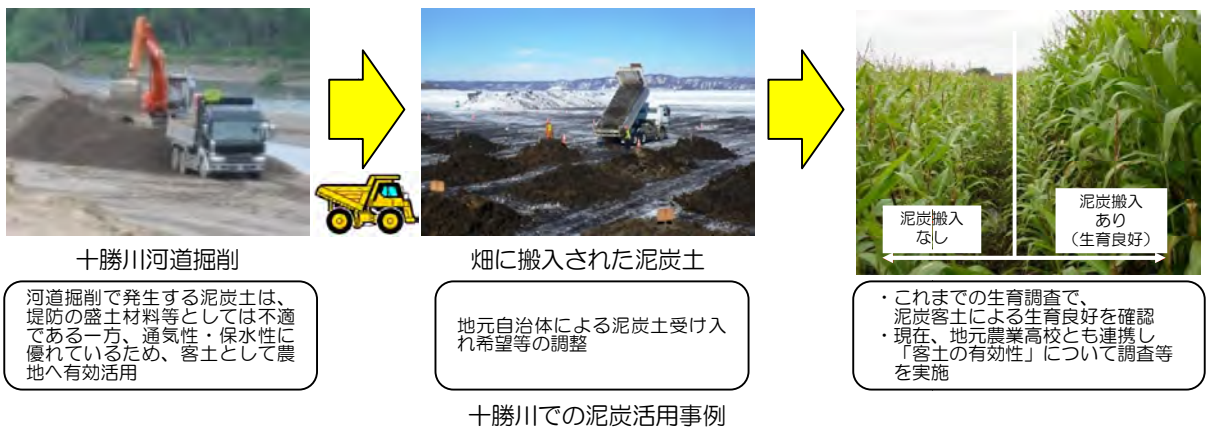
#### ② まちづくりと一体となった魅力ある水辺空間の創造

平成27年度から新たに「丘のまちびえい」で知られる美瑛川地区において、まちづくりと連携した水辺整備を行うことで、水辺とまちの活性化に向けたかわまちづくりに着手します。

また、北海道の水辺を活かした新たな賑わいを生み出すため、住民・企業・行政が一体となり、水辺とまちの未来を描くムーブメントを展開します。（ミズベリング・プロジェクト）

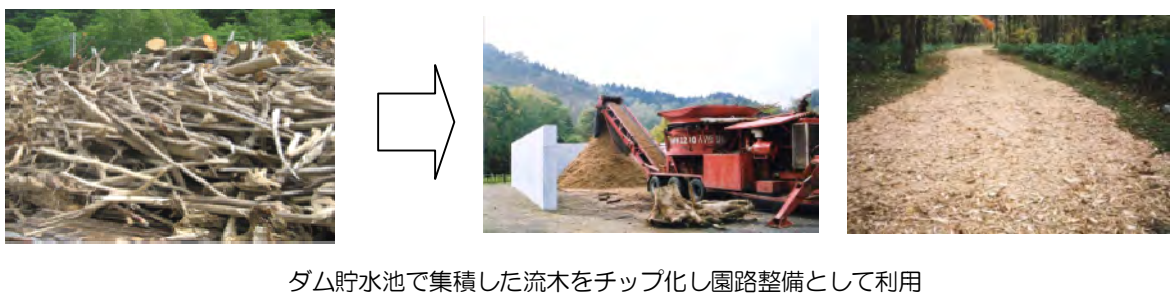
### ③ 公共事業の実施に伴う発生土砂の有効活用等

十勝川や千歳川の河川事業で発生する泥炭を農地の土壌改良材として有効活用し、北海道の基盤産業の一つである農業の生産向上を図ります。



堤防除草により毎年発生する刈草を家畜の敷藁など地域で利活用を進めるとともに、新たにバイオガス資源として提供し除草費用の縮減と地域事業との連携を図ります。

ダム貯水池で集積した流木については、一般の方への無料配布や、チップ化による園路整備等、資源の有効利用に取り組みます。



# ちとせ 千歳川遊水地群整備事業

（直轄）

## 1. 概要

千歳川の中下流部には広大な低平地が広がっているため、洪水時に石狩川本川の高い水位の影響を長い区間にわたり長時間受けるなど水害が起きやすい特性を有しており、ほぼ2年に1回という頻度で水害に見舞われています。

特に、昭和56年8月上旬洪水は未曾有の大洪水となり、被害家屋2,683戸、浸水面積192km<sup>2</sup>の被害をもたらしました。

本事業は、「堤防強化（遊水地併用）案」を盛り込んだ千歳川河川整備計画が、平成17年4月に策定されたのを受けて、度重なる水害の解消を図るため、遊水地群を千歳川本支川に分散して整備し、災害の防止を図るものです。

## 2. 計画内容

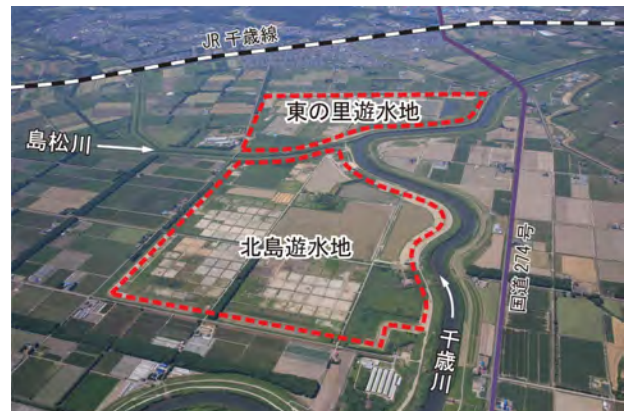
箇所名：江別市（江別太）、南幌町（晩翠）、北広島市（東の里）、恵庭市（北島）、千歳市（根志越）

面積：A=1,150ha

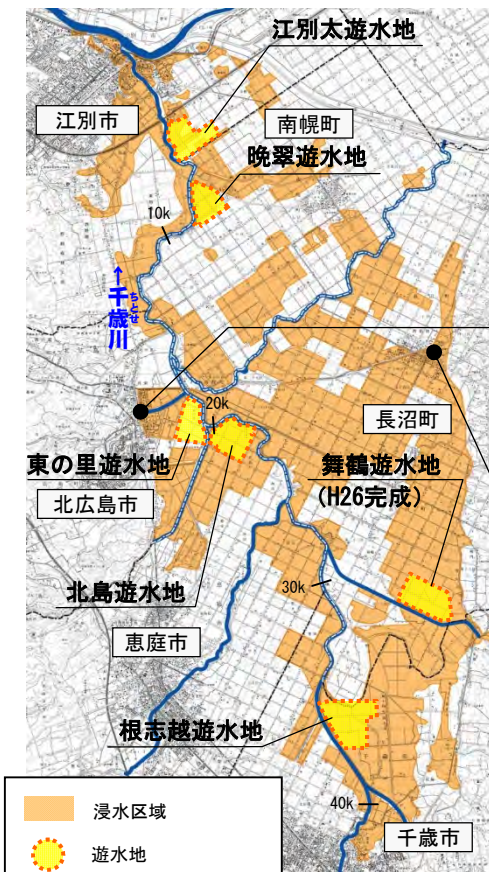
全体事業費：C=1,150億円

事業予定期間：平成20年度～平成31年度

H27実施内容：掘削、築堤、用地及び補償費等



### ■ S56.8 上旬降雨による浸水区域



### ■ 遊水地のイメージ

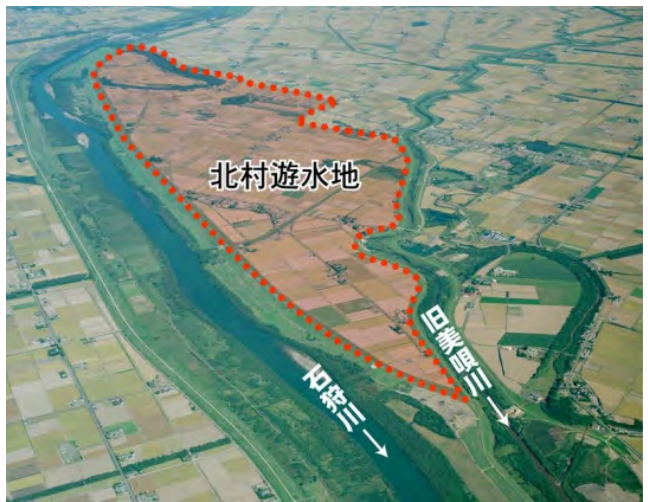


### 1. 概要

石狩川下流域には道都札幌市等が位置し、北海道の社会、経済の中核となっているほか、流域内の広大な農地は我が国数の食料供給地となっています。特に昭和56年8月上旬洪水時には、11箇所の堤防が破堤するなど、氾濫面積614km<sup>2</sup>、被害家屋約22,500戸におよぶ甚大な浸水被害が発生しました。この戦後最大規模の洪水から石狩川下流域を防御するため、北村遊水地の整備を推進します。

### 2. 計画内容

- 箇所名：岩見沢市、月形町、新篠津村
- 面積：A=950ha
- 全体事業費：C=700億円
- 事業予定期間：平成24年度～平成38年度
- H27実施内容：築堤、用地及び補償費等



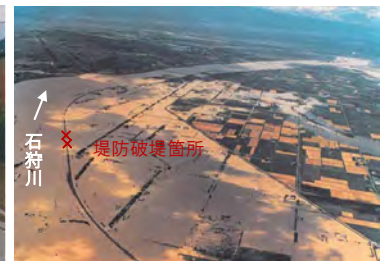
#### ■S56.8上旬降雨による浸水区域

<S56.8上旬洪水被害概要>  
 ・氾濫面積約614km<sup>2</sup>  
 ・被害家屋約22,500戸、死者2名

- 凡例
- 氾濫区域
  - 破堤箇所



創成川 市街地の浸水状況 (札幌市)



石狩川右岸 下新篠津付近の氾濫状況 (江別市)

#### ■遊水地のイメージ



平時は農地として利用



洪水時は遊水地として利用

## サンルダム建設事業

（直轄）

### 1. 概要

近年頻発する洪水災害から地域社会を守るため、サンルダムの建設を推進します。

平成5年度に建設事業に着手したサンルダムは、平成29年度の完成に向けて、事業を継続します。

○平成27年度実施内容 本体工事等

### 2. 計画内容

○目的

- ・洪水調節（天塩川、名寄川の洪水防御）
- ・流水の正常な機能の維持
- ・水道用水の供給（名寄市、下川町：0.019 m<sup>3</sup>/s）
- ・発電（ほくでんエコエナジー：最大 1,100 kw）

○ダム諸元

- ・型式 台形CSGダム
- ・堤高：46m
- ・堤頂長：350m
- ・堤体積：495,000m<sup>3</sup>
- ・総貯水容量：57,200,000m<sup>3</sup>



完成予想図



本体工事状況（平成26年7月撮影）

# たるまえさん 樽前山火山砂防事業

（直轄）

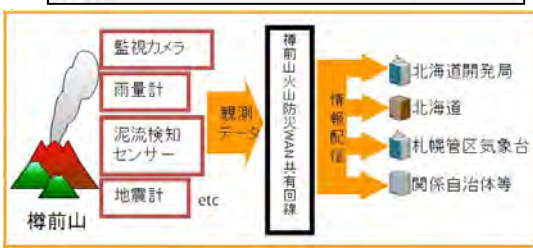
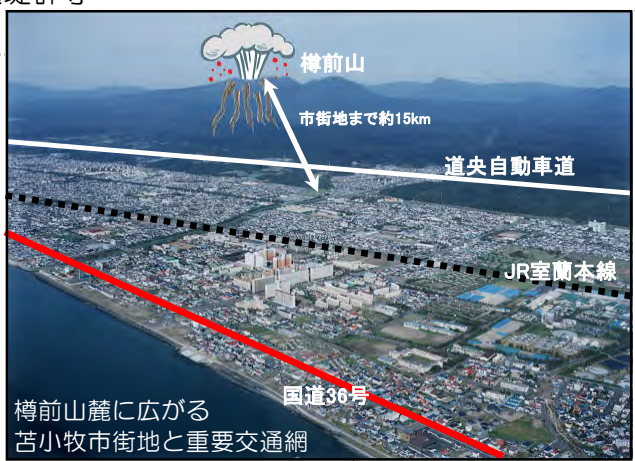
## 1. 概要

樽前山は、1667年から1987年迄に大規模～中規模の噴火を繰り返し、1739年の大噴火では火砕流が山麓まで流下しました。昭和53年(1978)のごく小規模の噴火後も火口の高温状態が続いており、平成8年(1996)以降地震活動が増加、平成22年(2010)にも火山性地震が2回発生し火山性微動が起きるなど、いつ噴火してもおかしくないと言われ、気象庁の常時観測火山となっています。

樽前山麓には苫小牧市・白老町の市街地が位置し、道央自動車道・国道36号・JR室蘭本線などの重要交通網や新千歳空港・苫小牧港・苫小牧臨海工業地帯などの物流拠点が集中しており、噴火した場合、甚大な被害の発生が危惧されます。このため、火山泥流災害の被害軽減を目的として平成6年より直轄火山砂防事業により砂防設備の整備を進めています。

## 2. 計画内容

- 箇所名：苫小牧市、白老町
- 実施内容：遊砂地工、砂防堰堤工、火山観測機器等
- 事業予定期間：平成6年度～
- H27実施内容：苫小牧川遊砂地、<sup>おぼっぴがわ</sup>覚生川砂防堰堤群等



樽前山火山情報共有イメージ



覚生川砂防堰堤群（建設中）



平成27年度（継続）

# いぶり 胆振海岸 海岸保全施設整備事業

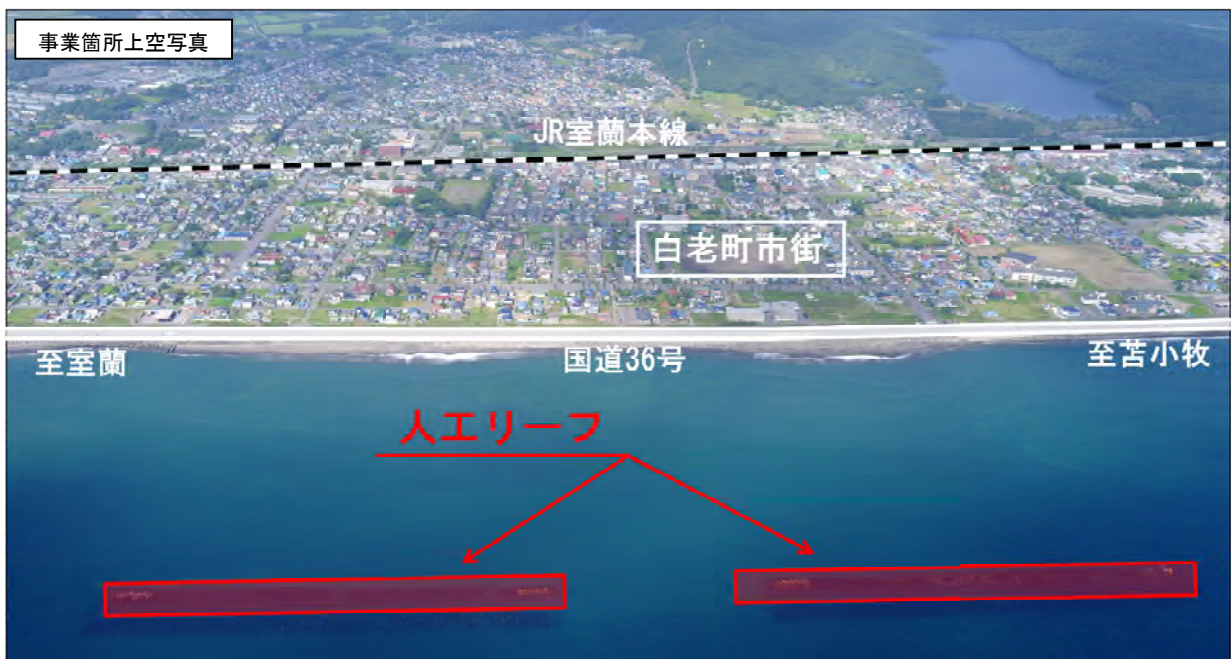
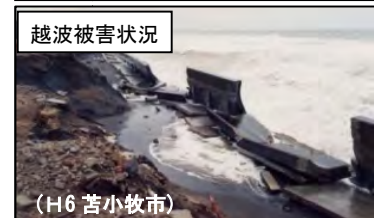
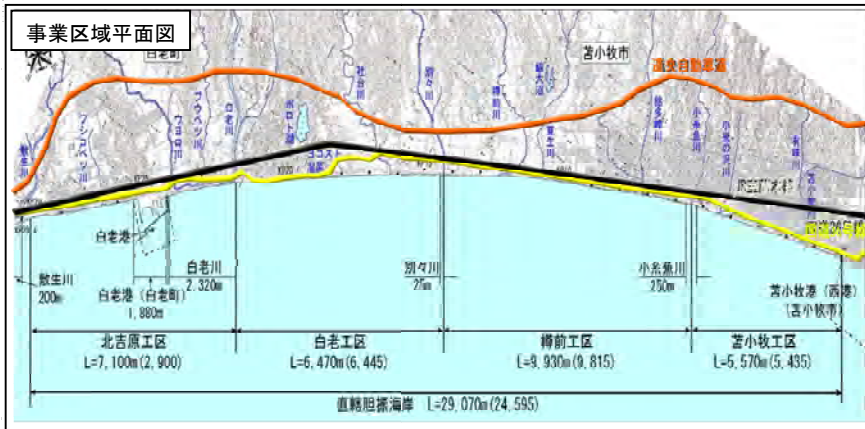
（直轄）

## 1. 概要

胆振海岸は北海道の物流の要である苫小牧港の西側に位置する海岸であり、背後には重要交通網の国道36号、JR室蘭本線が隣接するとともに、それらに面して住宅が密集しています。当海岸では、海岸侵食の進行に伴い、夏期から秋期にかけての台風や季節風による波浪災害が頻発しており、住民生活、経済活動に重大な影響を及ぼしていることから、海岸侵食対策として人工リーフ整備を推進します。

## 2. 計画内容

箇所名：苫小牧市、白老町  
直轄区間延長：L=24.595km  
事業開始時期：昭和63年度  
H27実施内容：白老工区 人工リーフ



# くしろ 釧路川総合水系環境整備事業

（直轄）

## 1. 概要

釧路湿原は、我が国最大の湿原であり、昭和55年に国内最初のラムサール条約による国際保護湿地として登録され、次いで昭和62年には湿原単体としては初めて国立公園に指定されているなど、豊かな自然環境に恵まれています。しかし、流域の発展に伴い釧路湿原の面積が急激に減少し、乾燥化などによる質的な変化が現れています。

このため、平成15年の自然再生推進法の施行を受け、同年に地域住民、学識者、関係行政機関等多様な主体の参加による「釧路湿原自然再生協議会」が設立され、平成17年には、同協議会により「釧路湿原自然再生全体構想」が策定され、地域の協働のもと釧路湿原の保全・再生に取り組んでいます。

## 2. 計画内容

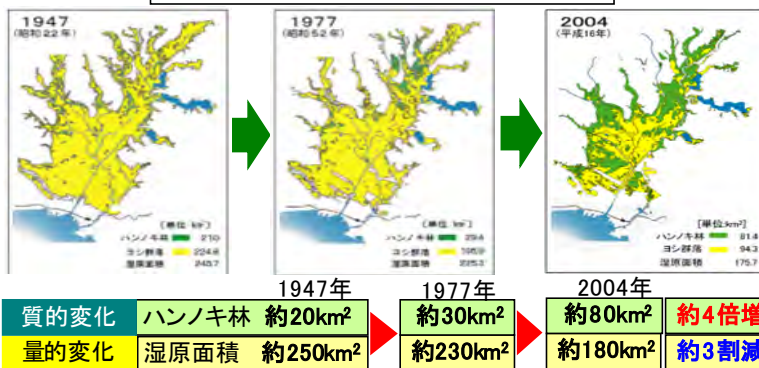
箇所名：標茶町、鶴居村

実施内容：旧川復元（茅沼地区）土砂流入対策（久著呂川）、湿原再生（幌呂地区）

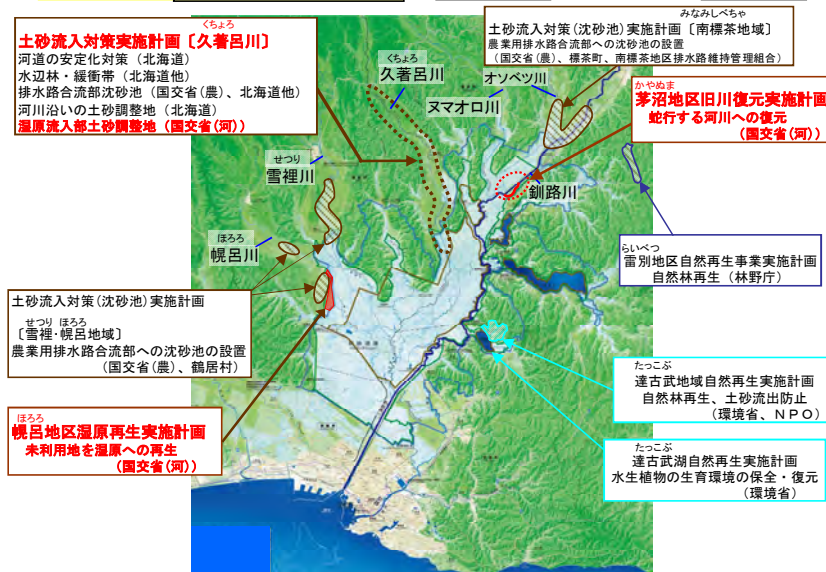
事業予定期間：平成13年度～平成42年度

H27実施内容：人工ケルミ（久著呂川）、湿原再生（幌呂地区）、モニタリング等

### 湿原面積の急激な減少と湿原植生の変化



流域の経済活動の拡大に伴い、この60年間で湿原面積の約3割が減少、ハンノキ林が約4倍に拡大。



茅沼地区の旧川復元（モニタリング中）

釧路湿原自然再生の取り組み状況

（赤：釧路川総合水系環境整備事業）



## 2. 道路事業

### <基本方針>

平成27年度予算については、「個性あふれる地域の活性化」、「食糧供給力の強化」及び「安全・安心な国土の形成」を重点事項として、第7期北海道総合開発計画等を踏まえ、活力と競争力ある北海道経済の実現を図るための基盤整備を推進します。

また、北海道の豊かな資源・特性を活かして、我が国が直面する課題の解決に貢献していくとともに、地域の活力ある発展を図るため、防災・減災や老朽化対策等による国土強靱化を推進し、安全安心に暮らせる社会基盤の確立を図ります。

### <主要施策>

#### 1 個性あふれる地域の活性化

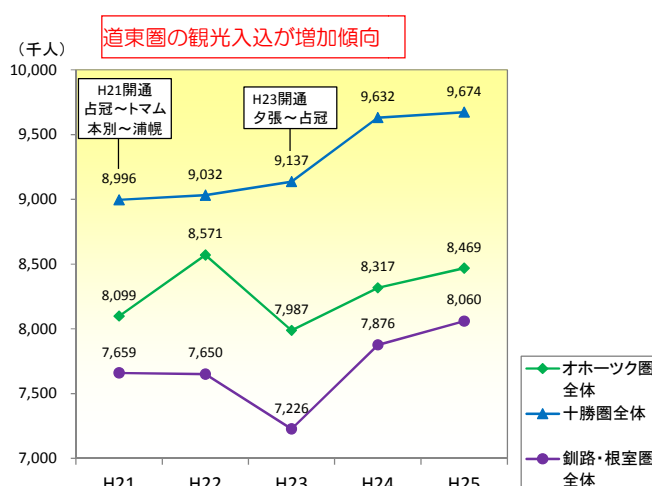
##### (1) 広域的な交通ネットワークの充実など地域経済・産業を支える社会資本の整備

広域的な交流、拠点的な空港・港湾等の交通拠点と質の高い農水産品、観光資源等を有した地域を結ぶ交通体系を強化し、地域経済・産業を支える道路ネットワークの整備を推進します。

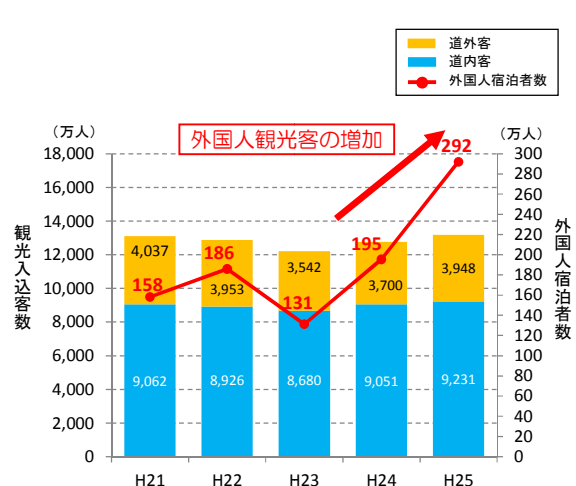
■高規格道路の開通延伸により十勝・釧路・根室圏の観光振興の活性化と観光資源を活かしたインバウンド観光の推進に寄与



##### ■圏域別観光入込客数



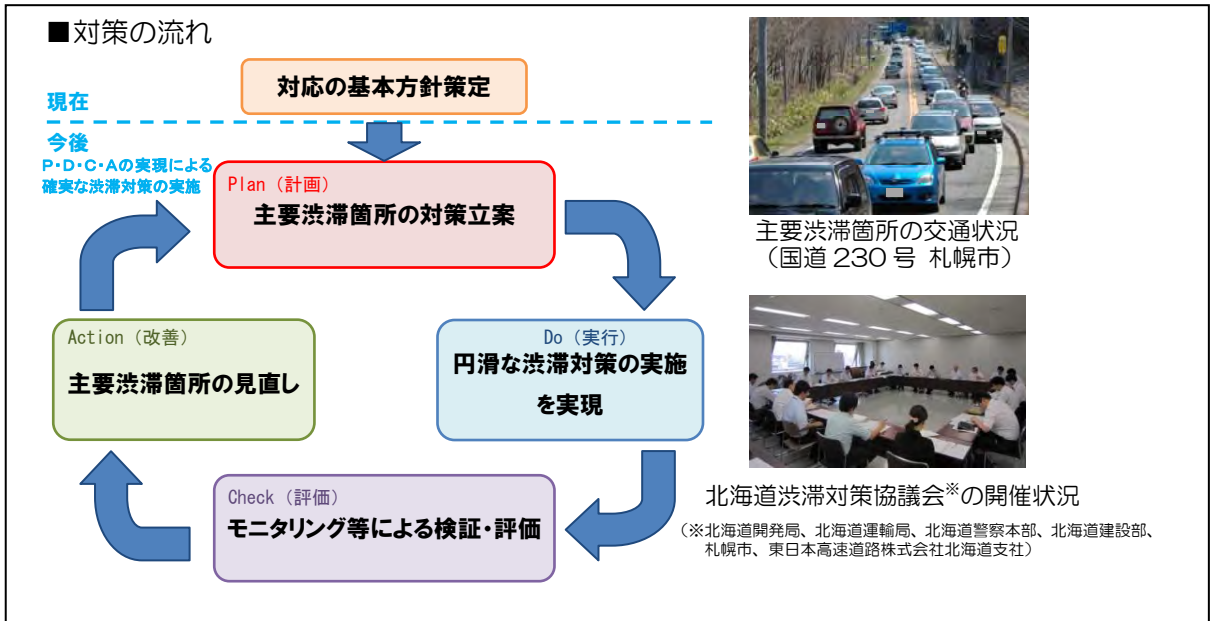
##### ■全道の観光入込者数・外国人宿泊者数



## (2) 円滑な都市・地域活動のための渋滞対策

北海道渋滞対策協議会において特定された主要渋滞箇所（道内全路線：214箇所）の解消に向けた検討・対策を実施します。

（平成27年3月現在 取組中：61箇所、検討中：153箇所）

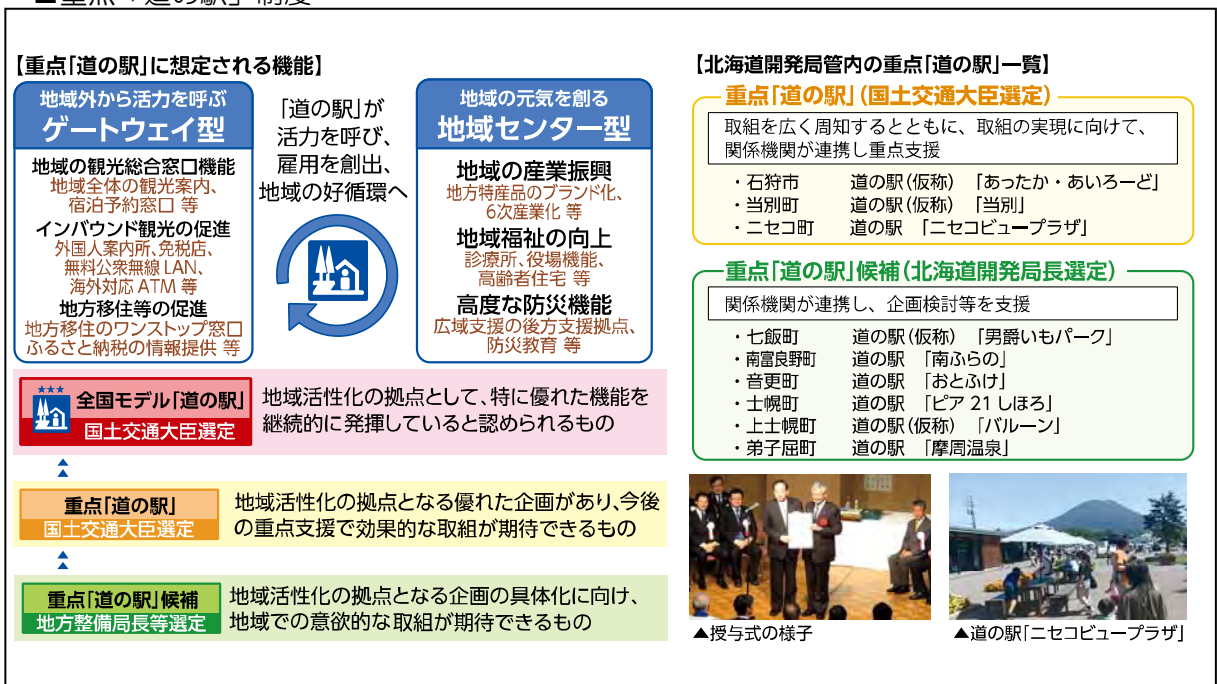


## (3) 広域的な生活圏の形成と交流・連携強化

### 重点「道の駅」制度の創設

「道の駅」を核とした地域活性化の取り組みとして、優れた「道の駅」を関係機関と連携して重点的に支援します。

#### ■ 重点「道の駅」制度



## 2 安全・安心な国土の形成

### (1) 頻発する自然災害に備える防災対策の推進

#### ①道路の老朽化対策の本格実施

橋梁・トンネル等の道路構造物について、適切に点検・診断、その結果に基づく修繕等を実施するメンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の推進に取り組みます。

#### ■「道路メンテナンス会議」を活用した定期点検の着実な推進 【取組事項】

- ① 地域単位での点検業務の一括発注等の実施
- ② 5年間の点検計画に基づき、点検・修繕等を計画的に実施
- ③ 跨線橋・高速道路跨道橋は優先的に点検。高速道路跨道橋では、道路以外の施設についても「跨道橋連絡会議」による管理者への点検要請等を実施



道路メンテナンス会議状況



橋梁の点検状況



トンネルの点検状況

#### ②道路の防災・震災対策

大規模災害発生時における被害を軽減し、救急救命活動や復旧支援活動を支えるため、橋梁の耐震性能向上や道路法面の防災対策を進めるとともに、主要都市間等を連絡する高規格幹線道路の整備を推進します。



橋脚の耐震補強



落橋防止システム



斜面崩落防止対策

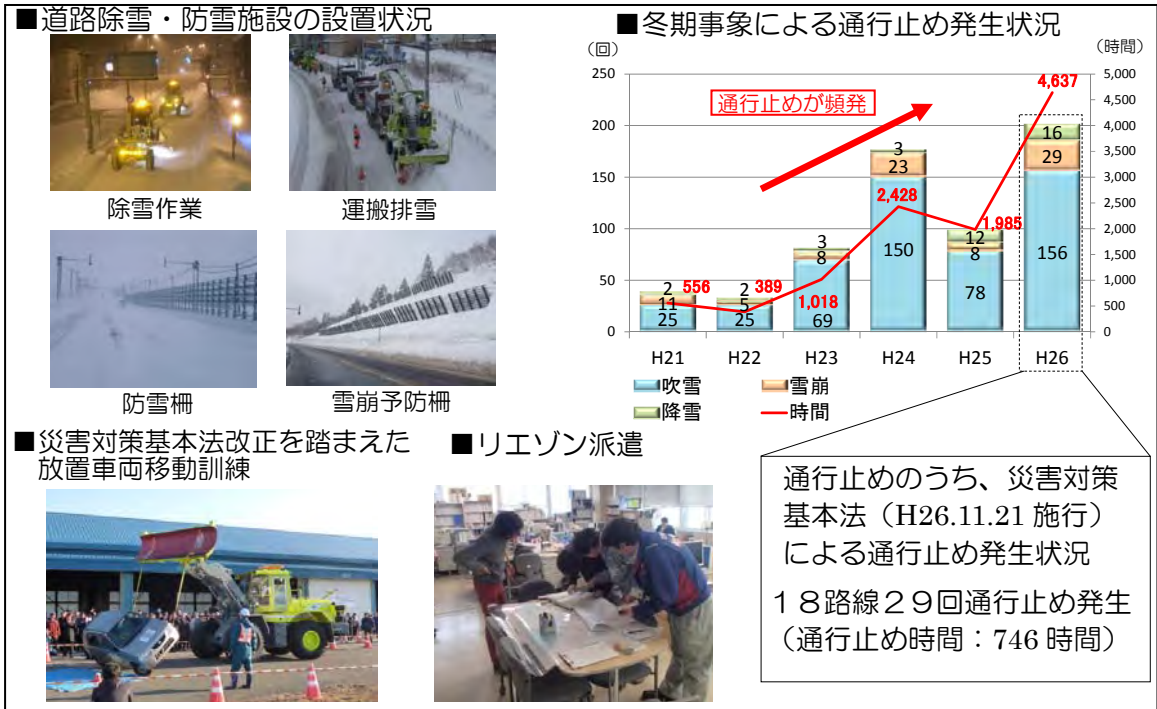


災害時の迅速な支援活動を支える  
高規格幹線道路の整備

## (2) 冬期交通の信頼性向上

安全で円滑な冬期道路交通の確保を図るため、気象状況や交通状況等を踏まえて、適切なタイミングで除排雪作業を実施します。また、関係機関と合同で災害対策基本法改正を踏まえた放置車両等の移動訓練を実施するなど関係機関相互の連携をより一層強化するとともに、雪害時には、除雪車両の貸与やリエゾン<sup>注</sup>派遣による災害関連情報の共有等支援体制を構築しています。

(注：重大な災害の発生または発生の恐れがある場合に情報収集等を目的として自治体へ派遣する職員)



## (3) 道路交通事故等の無い社会を目指した交通安全対策の推進

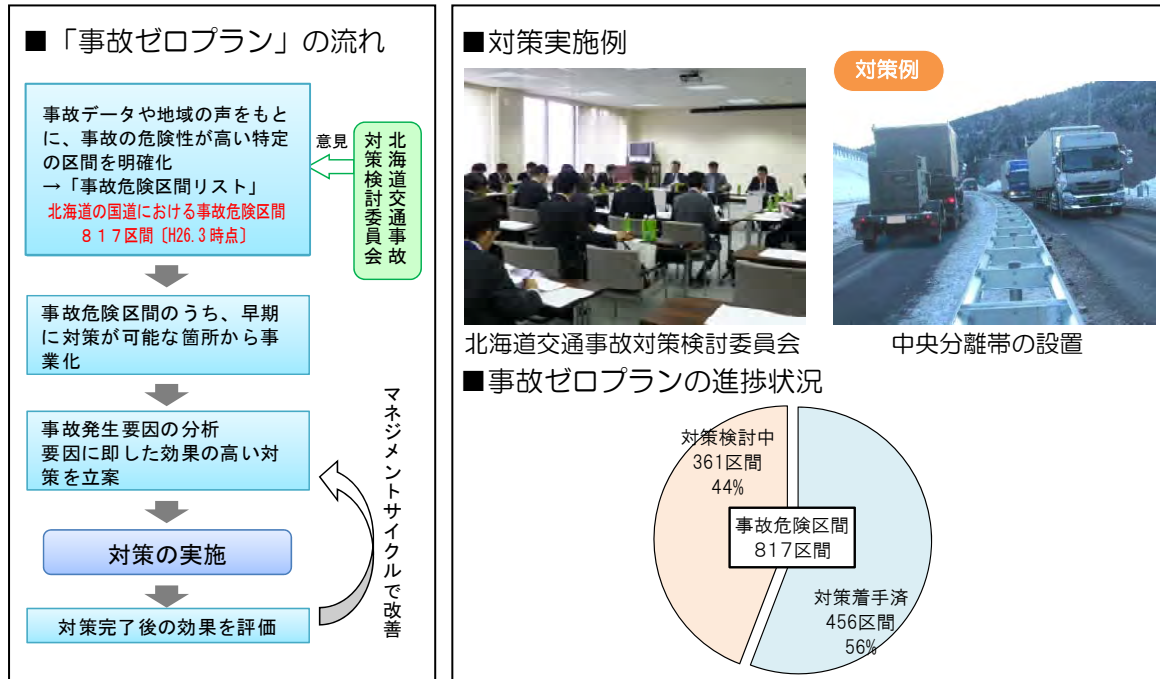
### ① 通学路など歩行空間等の安全・安心の確保

通学路緊急合同点検に基づく歩道整備や防護柵の設置等を引き続き実施するとともに、継続的な合同点検や効果把握等の計画的な取組を推進します。



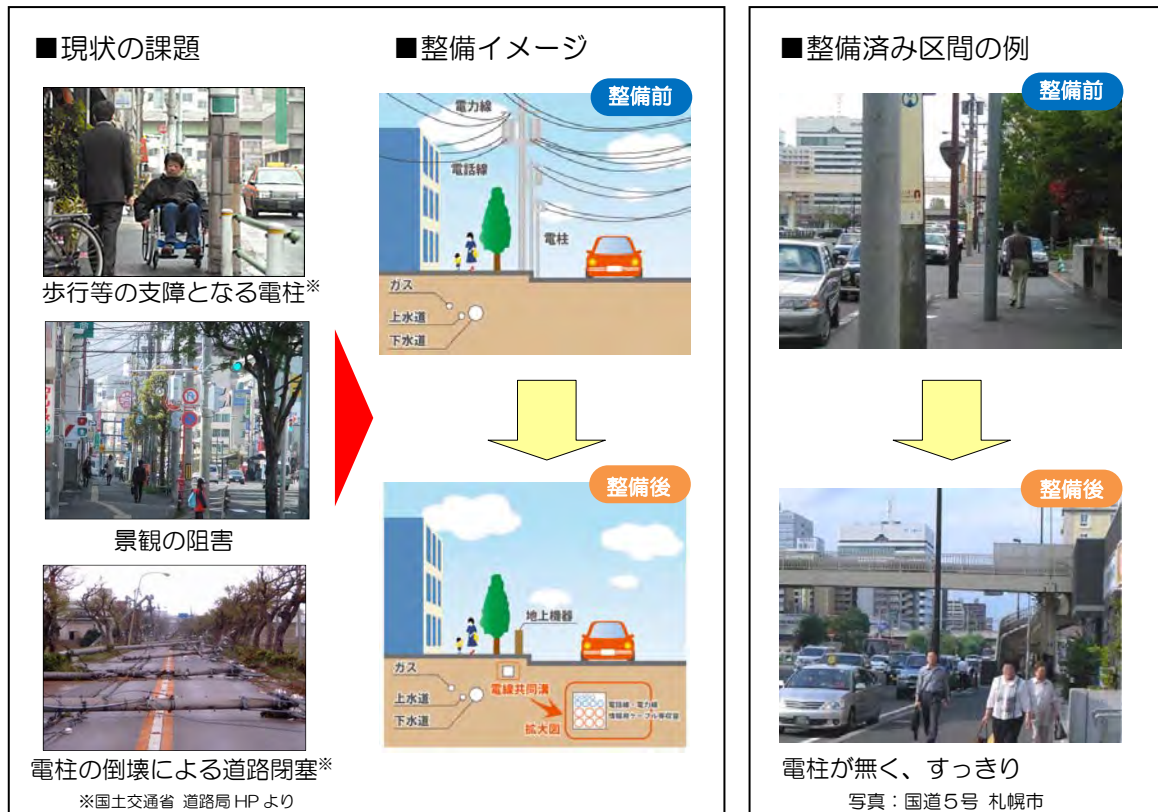
## ② きめ細かく効率的な事故対策の推進

事故データや地域の声に基づく事故の危険性が高い区間等における重点的な対策を実施する事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦：817区間）に基づき、幹線道路のみならず身近な道路においても交通安全対策を推進します。



## (4) 無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、地域住民や電線管理者等と連携し、無電柱化を推進します。



【 参考 】

道路ネットワーク図  
(平成27年度開通予定区間)

凡 例	
高規格幹線道路	
	開 通 区 間
	事 業 区 間
	計 画 区 間 (予定路線含む)
地域高規格道路	
	開 通 区 間
	事 業 区 間
	計 画 区 間 (候補路線含む)

凡 例		
空 港	国 管 理	
	特定地方管理	
港 湾	地方管理	
	国際拠点 重 要	



## 平成27年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向け、概略ルート・構造検討に係る調査等を進めます。  
主な調査箇所は、下記の通りです。

### 【主な調査箇所】

概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）

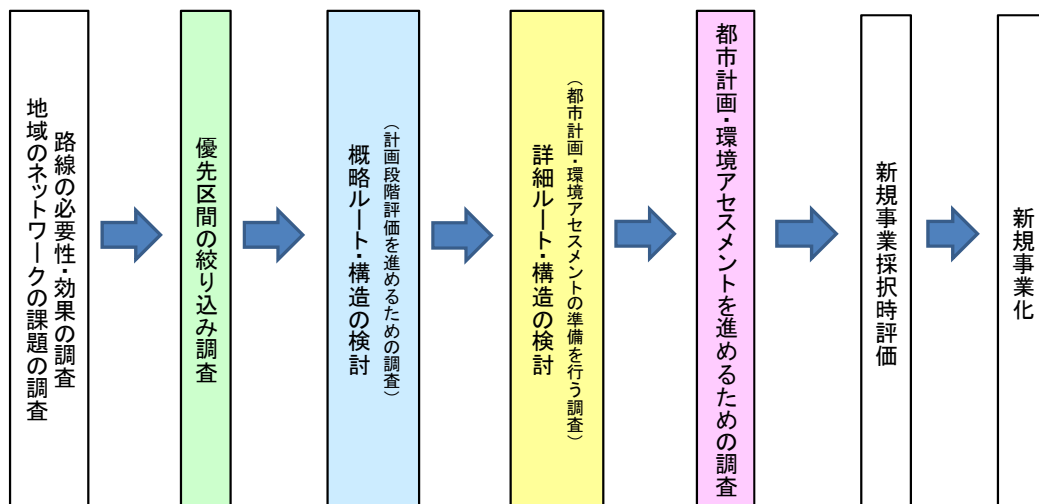
おびひろ ひろお たいき ひろお  
帯広・広尾自動車道 大樹～広尾

ほっかいどうおうだん たんの たかの  
北海道横断自動車道 端野～高野

その他の未整備区間等についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めることとしています。

また、渋滞や交通安全、災害、冬期交通障害など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

### <道路調査の流れ>



平成27年度（部分開通予定）

# 北海道横断自動車道 本別ほんべつ～釧路くしろ

（道東自動車道）

（直轄）

## 1. 概要

北海道横断自動車道は、黒松内町を起点とし、小樽市、札幌市、千歳市、夕張市、帯広市、本別町等を経由し、根室市・網走市へ至る延長約694kmの高速自動車国道です。

このうち本別～釧路は、本別ICから釧路西ICに至る延長65kmの事業であり、高速ネットワークの拡充による釧根圏と道央・十勝、オホーツク圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び、国際拠点港湾苫小牧港、新千歳空港等への物流の効率化等の支援を目的とした道路です。

平成27年度は、白糠ICから阿寒IC間の開通に向けた工事を重点的に進めます。

## 2. 計画内容

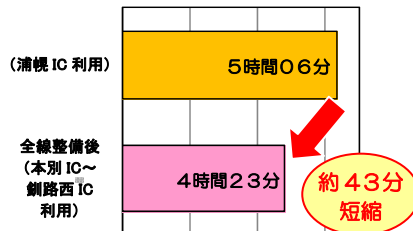
箇所名：北海道中川郡本別町なかがわほんべつちようきょう共栄～北海道釧路市くしろつるの鶴野  
延長：L=65.0km（うち開通済 L=34.0km）  
平成27年度開通予定：L=14.0km（白糠IC～阿寒IC）

### ■高速ネットワークの形成

釧路・根室地域と苫小牧港などへの交通体系が強化され、物流の効率化が期待されます。



#### ▼ 札幌市～釧路市間の所要時間



資料：H22 道路交通センサス（※本別IC～釧路西ICは70km/hで算出）

#### ▼ さんま（鮮魚）の主な輸送ルート





平成27年度（部分開通予定）

# 北海道横断自動車道 あしよろ きたみ 足寄～北見

（十勝オホーツク自動車道）

（直轄）

## 1. 概要

北海道横断自動車道は、黒松内町を起点とし、小樽市、札幌市、夕張市、清水町、本別町等を経由して根室市・網走市へ至る延長約694kmの高速自動車国道です。

このうち足寄～北見は、足寄ICから北見西ICに至る延長79kmの事業であり、高速ネットワークの拡充によるオホーツク圏と道央・十勝圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び、国際拠点港湾苫小牧港、新千歳空港等への物流の効率化等の支援を目的とした道路です。

平成27年度は、訓子府IC～北見西ICの開通に向けた工事を重点的に進めます。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道中川郡本別町西仙美利～北海道北見市北上

延長：L=79.0km

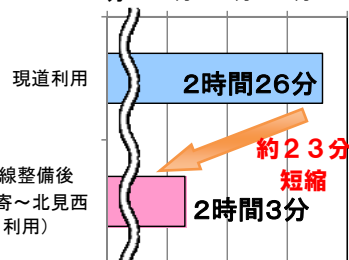
平成27年度開通予定：L=12.0km（訓子府IC～北見西IC）

### ■高速ネットワークの形成

オホーツク圏と十勝圏とのネットワークが強化



▼ 北見市～帯広市間の所要時間の変化  
0分 120分 130分 140分 150分



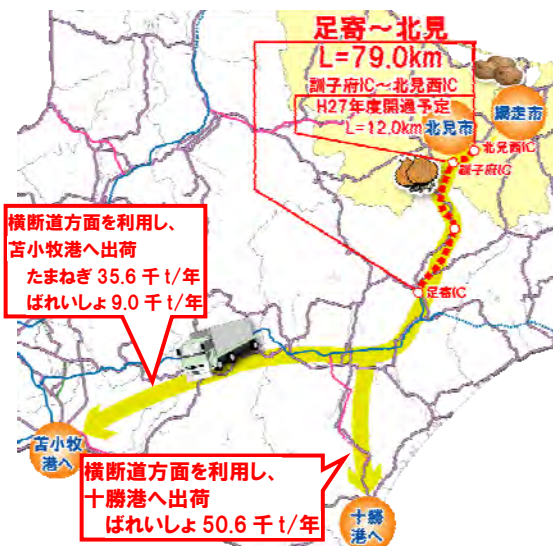
資料：H22 道路交通センサス  
(足寄～北見西間は70km/hで算出)

▼ 道東観光ツアー流動

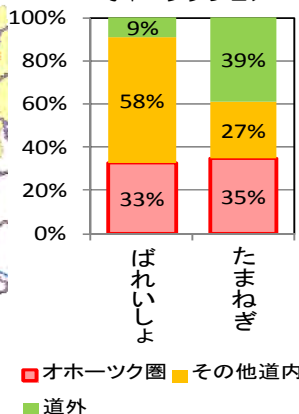


資料：北海道観光入込客数調査(H25年度)

▼ ばれいしょ・たまねぎ収穫量の主な輸送ルート



▼ ばれいしょ・たまねぎのオホーツクシェア



資料：H25 作物統計

### ■救急搬送ルートの速達性向上

▼ 陸別町からの救急搬送実態(H25)と線形不良箇所



資料：消防署ヒアリング

平成27年度（部分開通予定）

# 一般国道38号・44号 釧路外環状道路

（直轄）

## 1. 概要

一般国道38号は、滝川市を起点とし、釧路市に至る延長約297kmの幹線道路であり、一般国道44号は、釧路市を起点とし、根室市に至る約124kmの幹線道路です。

このうち釧路外環状道路は、釧路市街における交通混雑及び交通事故の低減による道路交通の定時性、安全性の向上を目的とした、釧路西インターチェンジから釧路別保インターチェンジに至る延長16.8kmの一般国道のバイパス事業です。

平成27年度は、釧路西ICから釧路東IC間の開通に向けた工事を重点的に進めます。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道釧路市鶴野～北海道釧路郡釧路町字別保

延長：L=16.8km

平成27年度開通予定：L=9.9km（釧路西IC～釧路東IC）

### ■交通混雑の緩和

釧路市内を通過する交通の当該道路への転換が見込まれ、主要渋滞区間の解消や交通混雑が緩和。



### ■道路交通の安全性向上

交差点の多い市内を通過する交通の当該道路への転換が見込まれ、道路交通の安全性が向上。



平成27年度（完成予定）

# 一般国道5号 いなほ 稲穂電線共同溝

（直轄）

## 1. 概要

一般国道5号稲穂電線共同溝は、全道有数の観光地である小樽市の駅前地区に位置し、小樽市中心市街地活性化基本計画で「回遊性を高めるための環境整備などによりにぎわいを創出する区域」に指定されると共に、北海道緊急輸送道路ネットワーク計画において「第1次緊急輸送道路」に指定されています。当該区間を整備することにより、安全で快適な通行区間を確保し、景観及び防災性を向上させることで、観光及び中心市街地の活性化を支援するものです。

平成27年度は、舗装工事を実施します。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道小樽市稲穂4丁目～北海道小樽市稲穂3丁目

延長：L=0.7km

平成27年度完成予定：L=0.7km



### 効果1 観光の支援

- ・当該事業の実施により、小樽歴史景観区域周辺の景観整備を支援するとともに、観光客等歩行者の回遊経路の無電柱化を促進することにより、景観性が向上し観光の活性化を支援。

### 効果2 中心市街地活性化の支援

- ・安全で快適な歩行空間の確保と、都市景観や防災性の向上を図り、中心市街地活性化基本計画による商業・交通・公共サービス等が集中したコンパクトなまちづくりを支援。

【整備前】



【整備後イメージ】



平成27年度（新規）

# 一般国道39号 比布大橋架替

（直轄）

## 1. 概要

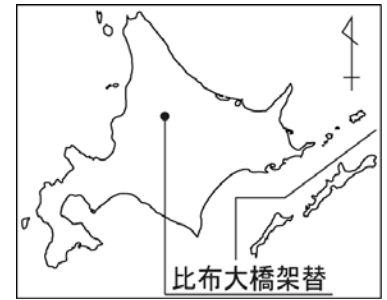
国道39号は、旭川市を起点として、上川町、北見市、美幌町等を経由し、網走市に至る延長約216kmの幹線道路です。

このうち比布大橋架替は、凍害等により橋脚等のコンクリートひび割れ、鉄筋露出等の劣化損傷の加速的な進行を防止し、緊急輸送道路としての安全性・信頼性確保を目的とした延長1.4kmの事業です。

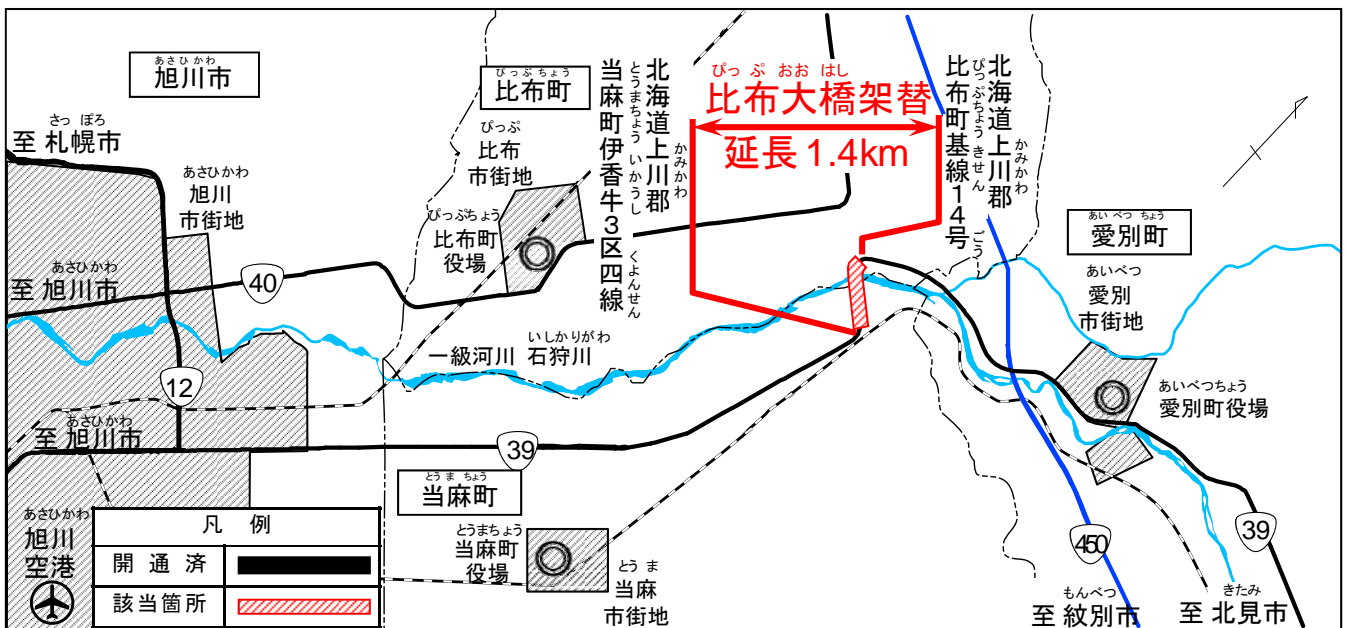
## 2. 計画内容

箇所名：北海道かみかわ上川郡とうまちょういかうし当麻町ほんせん伊香牛3区四線～  
上川郡かみかわ比布町びつぷ基線14号

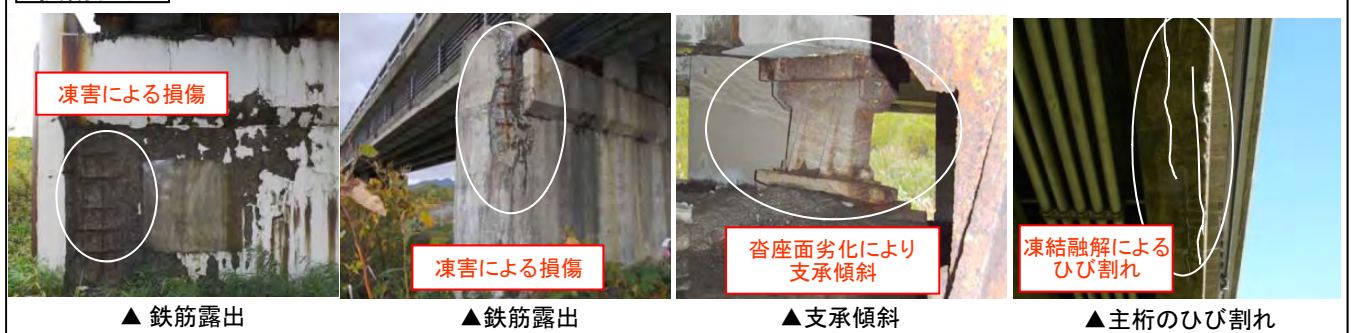
延長：L=1.4km



## ■道路の老朽化対策



## 損傷状況



平成27年度（新規）

# 一般国道44号 雪裡橋架替

（直轄）

## 1. 概要

国道44号は、釧路市を起点として、釧路町、厚岸町等を経由し、根室市に至る延長約124kmの幹線道路です。

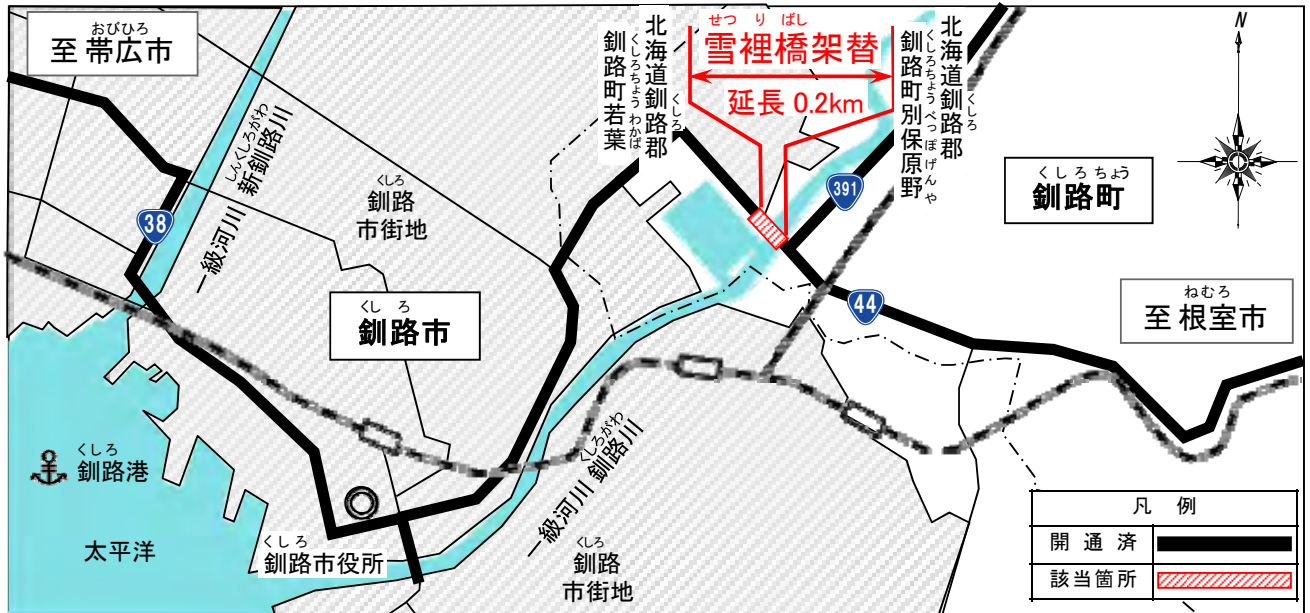
このうち雪裡橋架替は、釧路川の浸水被害が発生（平成25年9月）しており、河川断面の拡大による改修に合わせた延長0.2kmの事業です。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道釧路郡釧路町若葉～釧路郡釧路町別保原野  
延長：L=0.2km



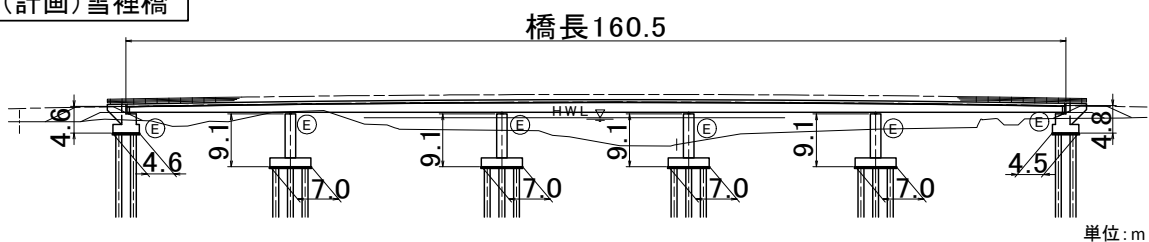
### ■道路の防災・震災対策



（現況）雪裡橋



（計画）雪裡橋



平成27年度（新規）

# 一般国道232号 たかさご 高砂橋架替

（直轄）

## 1. 概要

国道232号は、稚内市を起点として、天塩町、苫前町等を経由し、留萌市に至る延長約128kmの幹線道路です。

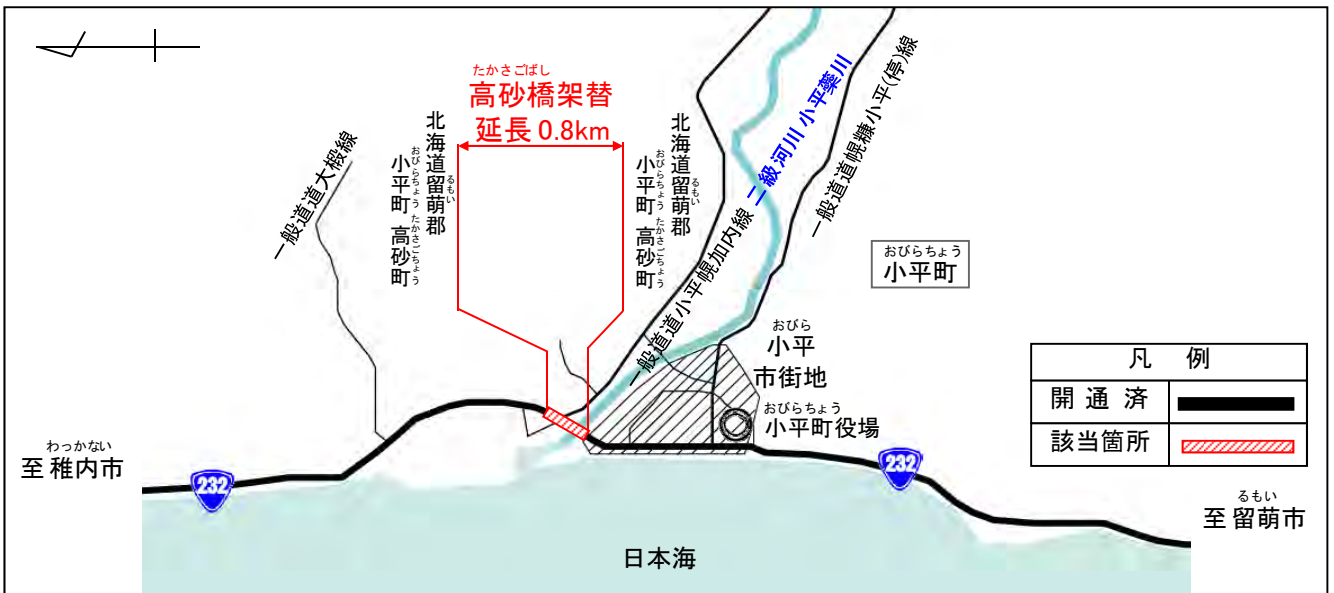
このうち高砂橋架替は、下部工の耐震性能不足による大規模地震発生時の落橋・倒壊等の重大な損傷を防止し、緊急輸送道路としての安全性・信頼性確保を目的とした延長0.8kmの事業です。

## 2. 計画内容

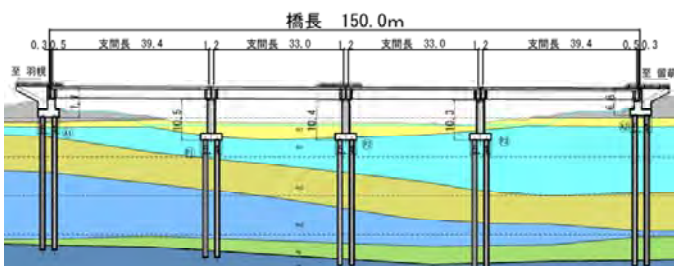
箇所名：北海道留萌郡小平町高砂町  
延長：L=0.8km



## ■道路の防災・震災対策



（計画）高砂橋



（現況）高砂橋



平成27年度（新規）

# 一般国道242号 あしよる 足寄橋架替

（直轄）

## 1. 概要

国道242号は、網走市を起点として、遠軽町、北見市、足寄町、本別町、幕別町等を経由し、帯広市に至る延長約185kmの幹線道路です。

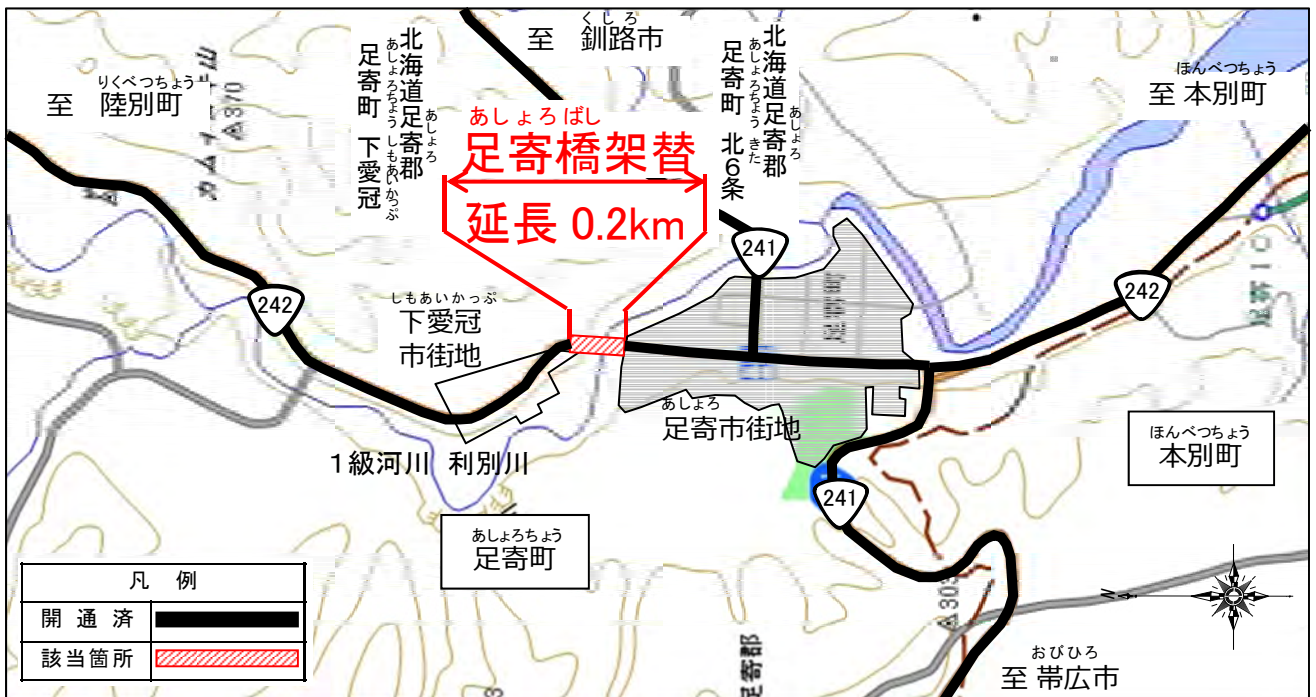
このうち足寄橋架替は、利別川の浸水被害が発生（平成25年4月）しており、河川断面の拡大による改修に合わせた延長0.2kmの事業です。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道足寄郡足寄町下愛冠～足寄郡足寄町北6条  
延長：L=0.2km



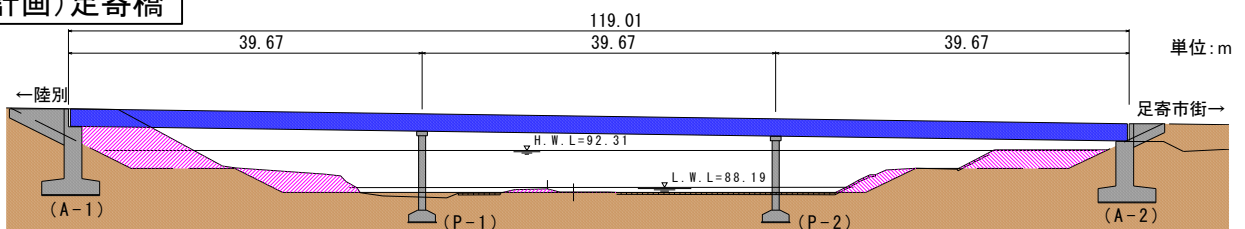
## ■道路の防災・震災対策



（現況）足寄橋



（計画）足寄橋



平成27年度（新規）

# 一般国道275号 ごかやま 五ヶ山橋架替

（直轄）

## 1. 概要

国道275号は、札幌市を起点として、江別市、当別町、新十津川町、幌加内町、美深町等を経由し、浜頓別町に至る延長約281kmの幹線道路です。

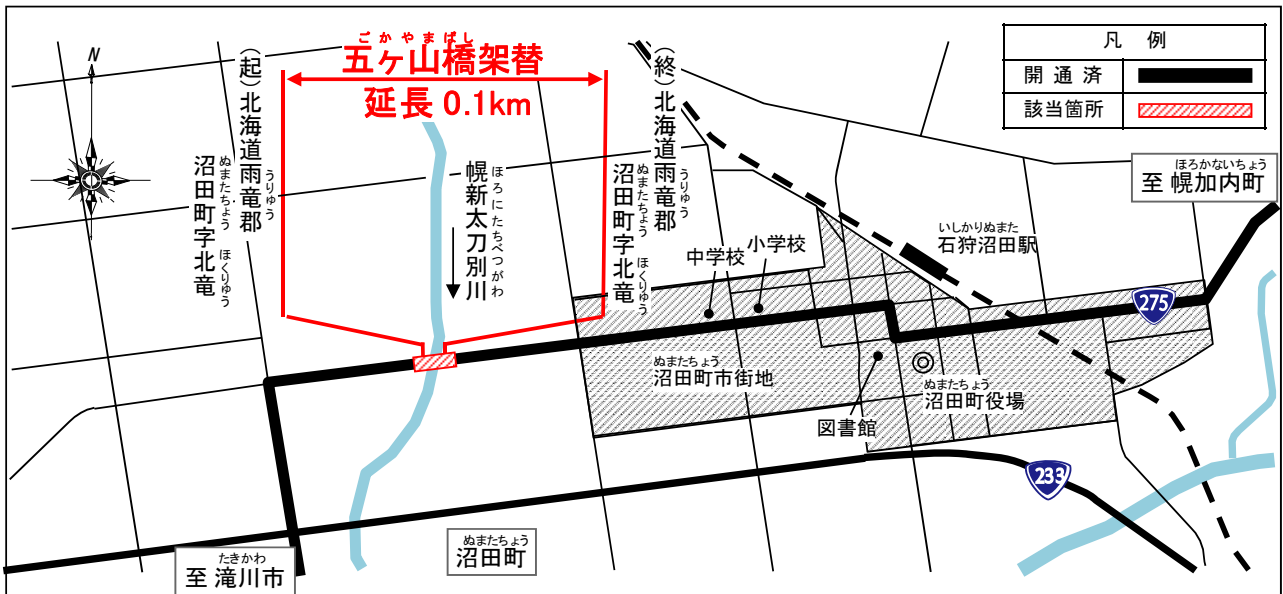
このうち五ヶ山橋架替は、河床低下により橋脚基礎の支持力不足による大規模地震発生時の落橋・倒壊等の重大な損傷を防止し、緊急輸送道路としての安全性・信頼性確保を目的とした延長0.1kmの事業です。

## 2. 計画内容

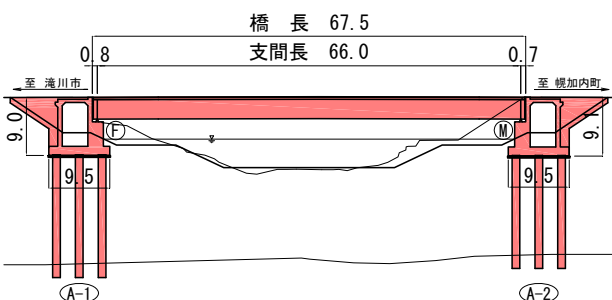
箇所名：北海道雨竜郡沼田町字北竜  
延長：L=0.1km



### ■道路の防災・震災対策



（計画）五ヶ山橋



（現況）五ヶ山橋



単位：m



平成27年度（新規）

# 一般国道276号 みどりこせんきょう 緑跨線橋架替

（直轄）

## 1. 概要

国道276号は、江差町を起点として、共和町、喜茂別町、伊達市等を経由し、苫小牧市に至る延長約109kmの幹線道路です。

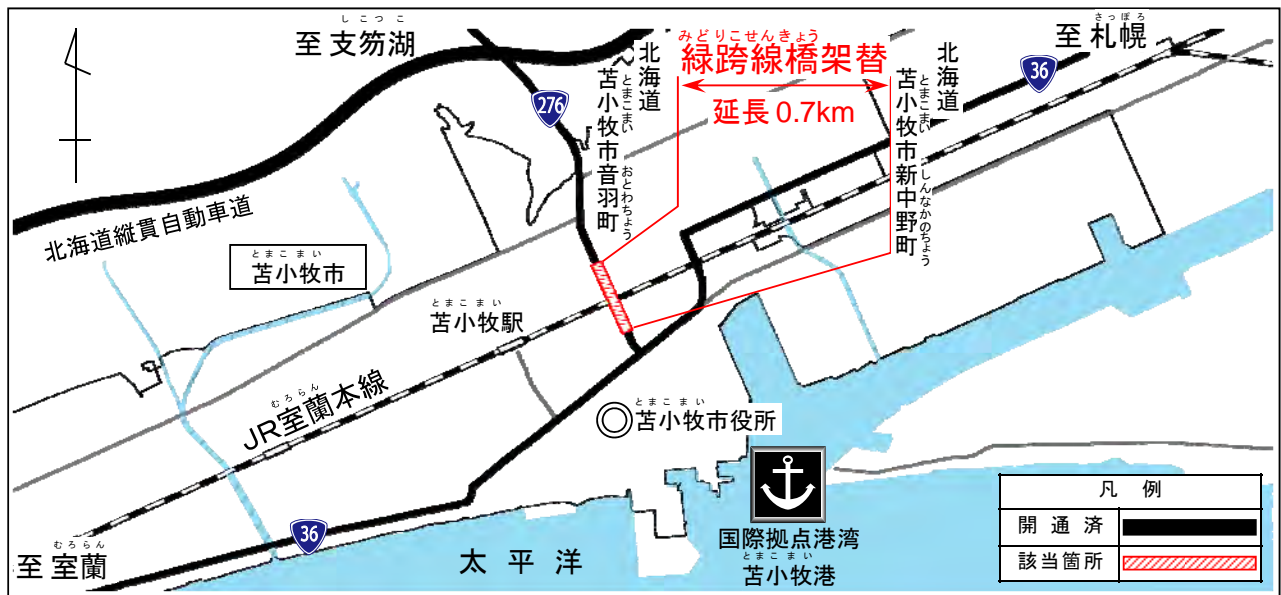
このうち緑跨線橋架替は、下部工の耐震性能不足による大規模地震発生時の落橋・倒壊等の重大な損傷を防止し、緊急輸送道路としての安全性・信頼性確保を目的とした延長0.7kmの事業です。

## 2. 計画内容

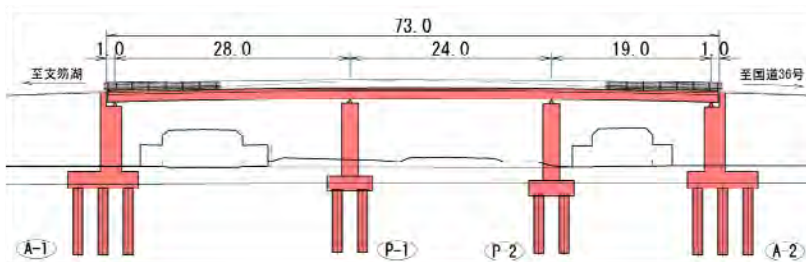
箇所名：北海道苫小牧市音羽町～苫小牧市新中野町  
延長：L=0.7km



## ■道路の防災・震災対策



（計画）緑跨線橋



単位：m

（現況）緑跨線橋



平成27年度（新規）

# 北海道240号交通事故対策等（阿寒<sup>あかん</sup>交通事故対策事業）

（直轄）

## 1. 概要

当該区間は、国道240号の釧路市に位置する単路区間で、大型車両の通行が多い区間である。カーブが連続する区間において、速度超過及びハンドル操作のミスによる正面衝突事故が発生しており、また低速車に追突する事故が発生していることから、事故危険区間（地域の声）に選定されています。

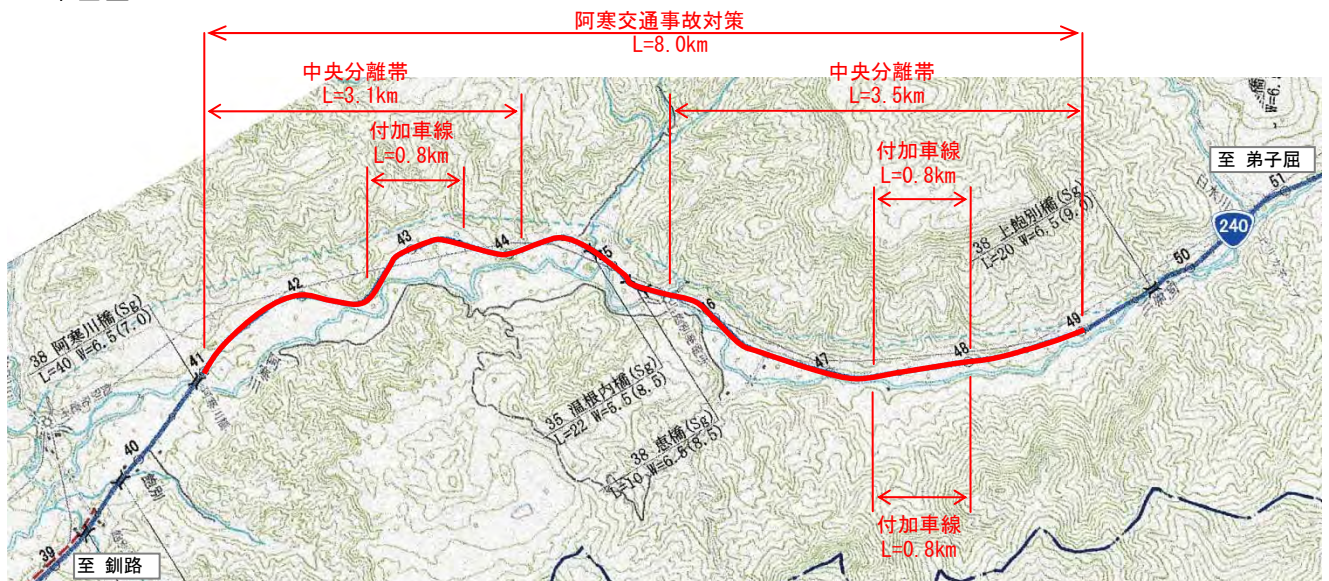
本事業は、中央分離帯の設置に併せて、部分的に付加車線を設けることで、事故の発生を防止するとともに、円滑な走行及び安全・安心な通行の確保を図ります。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道釧路市阿寒町鮑別  
延長：L=8.0km



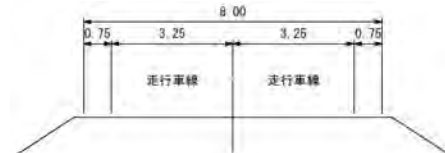
### ▼ 平面図



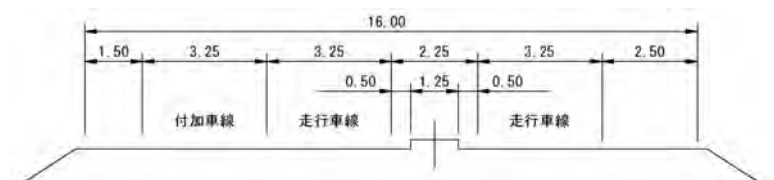
### ▼ 整備前（現在の状況）



【現況断面図】



【計画断面図】



平成27年度（新規）

# 一般国道44号 釧路末広町電線共同溝

（直轄）

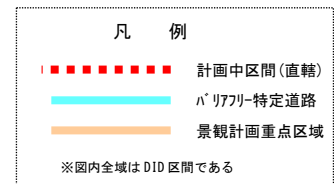
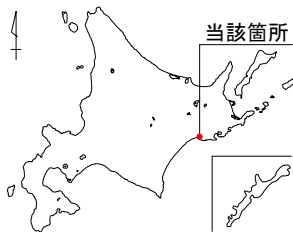
## 1. 概要

一般国道44号釧路末広町電線共同溝は、道東地区の中核都市である釧路市中心部に位置し、「釧路市津波避難計画」において津波避難時の重要避難経路とされており、無電柱化を推進する地区に位置しています。また、当該区間を含む一般国道44号は北海道緊急輸送道路ネットワーク計画において「第1次緊急輸送道路」に指定されています。

当該区間を整備することにより災害に強い安全で快適な通行空間の確保や情報通信ネットワークの信頼性向上、景観の向上が図られ、中心市街地の活性化を支援します。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道釧路市北大通5丁目～北海道釧路市旭町30  
延長：L=1.6km



### 効果1 都市防災の強化

- ・無電柱化整備により災害時の電柱倒壊等による交通障害を防ぎ、第1次緊急輸送道路及び津波避難時の重要避難経路の確保を支援。

### 効果2 中心市街地活性化の支援

- ・当該事業の実施により、釧路駅・北大通周辺の景観計画重点区域における景観性の向上を促進するとともに、観光の活性化を支援。

【整備前】



【整備後イメージ】



### 3. 港湾整備事業

北海道が持つ優れた資源・特性を活かし、地域の活力ある発展を実現するとともに、我が国が直面する課題の解決に貢献するためには、港湾の機能を適切に強化し、しっかりと活用していく必要があります。

平成27年度予算においては、新たな北海道総合開発計画において示された5つの計画の主要施策を推進するため、「競争力の強化」、「安全・安心の確保」に重点を置いた事業に取り組みます。

#### 1 内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上

##### 競争力の強化

国内外との多様な物流ネットワークの構築を図るため、国際バルク戦略港湾、国際海上コンテナターミナルなど、北海道の国際競争力の強化に向けた基盤整備を推進します。

また、北海道・本州間の物流機能の強化と安定化を図るため、複合一貫輸送（フェリー・RORO船）ターミナルの整備、ならびに北海道の基幹産業である水産業の荷役環境の改善・高度化を図るための港湾施設の整備を推進します。



飼料穀物の荷役状況（釧路港）



国際物流ターミナル(外貿コンテナ)（苫小牧港）



フェリー乗船待ちの状況（函館港）

## 2 安全・安心な国土づくり

### (1) 安全・安心の確保

地震等の災害が多い北海道において、大規模地震災害時の緊急物資等の輸送を確保するため、耐震強化岸壁の整備を推進します。

### (2) 離島交通の安定化

離島における島民生活や本土・離島間の物流機能の安定化を図るため、離島及び本土側の港湾整備を推進します。

### (3) 港湾施設の戦略的な維持管理

港湾施設の老朽化の進行や、老朽化による機能不全等に適切に対応するとともに、将来にわたる既存ストックの効率的、効果的な更新を計画的に進めるため、事後的な維持管理から予防保全的な維持管理への転換を推進します。



老朽化が著しい外郭施設（室蘭港）



老朽化が著しい係留施設（稚内港）



平成27年度（継続）

## 釧路港国際物流ターミナル整備事業

（直轄）

### 1. 概要

大型船舶による穀物の一括大量輸送を可能とし、北海道・東北地方を始めとする地域への穀物の安定的かつ安価な輸送を実現することを目的として、釧路港西港区第2埠頭地区において、船舶の大型化への対応及び非効率な荷役形態の改善を図るため、水深14mの国際物流ターミナルの整備を行います。

### 2. 計画内容

平成27年度整備施設：岸壁(水深14m)、泊地(水深14m)、航路・泊地(水深14m)

全体事業費：142億円

事業予定期間：平成26年度 ～ 平成29年度



平成27年度（継続）

## 苫小牧港〔西港区商港地区〕複合一貫輸送ターミナル改良事業

（直轄）

### 1. 概要

老朽化によって機能が低下した岸壁について、RORO船の荷役に対応した施設への改良を行い、係留船舶の安全性の向上や内貿ユニットロード貨物の荷役の効率化を図るため、苫小牧港西港区商港地区において、水深9mの複合一貫輸送ターミナルの改良を行います。

### 2. 計画内容

平成27年度整備施設：岸壁（水深9m）（改良）

全体事業費：94億円

事業予定期間：平成23年度 ～ 平成29年度

【位置図】



※ RORO 船：貨物をトラックやフォークリフトで積み卸しするために、船尾や船側にゲートを有する船舶。

## 4. 空港整備事業

### 1 内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上

#### 冬季交通の信頼性向上

降雪・海霧等の気象条件による欠航・遅延を減少させ航空機運航の定時性、安定性を向上させ、航空輸送の信頼性や利用者利便性の向上を図るため、B滑走路の北側進入用のILS（計器着陸装置）整備を進めます。

[新千歳空港]



新千歳空港のILS整備状況

### 2 安全・安心な国土づくり

#### (1) 空港施設の老朽化対策

航空ネットワーク機能を保持するため、滑走路等の老朽化した施設の更新・改良を計画的に推進します。

[新千歳空港、函館空港、釧路空港、稚内空港]



既設誘導路舗装の劣化状況

#### (2) 空港施設の耐震対策

大規模地震発生時の緊急物資等輸送拠点機能の確保、航空ネットワークの維持及び道内経済活動の継続性を確保するため空港施設の耐震対策を推進します。

[新千歳空港]



液状化対策施工状況



## 1. 概要

新千歳空港にはA・B2本の滑走路があり、主にA滑走路を離陸用、B滑走路を着陸用とし、2本の滑走路を活用した運用を行っています。A滑走路の南北両方向からの進入、B滑走路の南側からの進入（北風卓越時）に対しては視界不良時に航空機を着陸誘導するILS※が整備されています。しかし、B滑走路北側進入（南風卓越時）に対するILSが整備されていないことから、冬季のA滑走路除雪閉鎖時にB滑走路北側進入となる場合、視界不良による欠航や遅延が発生しています。また、南風悪天候下でB滑走路北側進入ができない場合についてもA滑走路に離陸・着陸便が集中するため、遅延等が発生しています。こうしたことから、B滑走路北側進入に対応するILS整備を進め、引き続きILSの用地造成を行います。

なお、ILSの無線・照明施設は東京航空局が設置します。

## 2. 計画内容

箇所名：新千歳空港

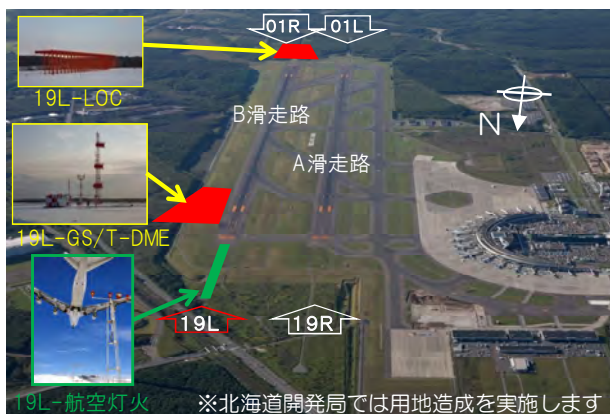
整備内容：用地造成

事業予定期間：平成20年度～平成27年度（想定）

### ●新千歳空港のILS双方向化事業



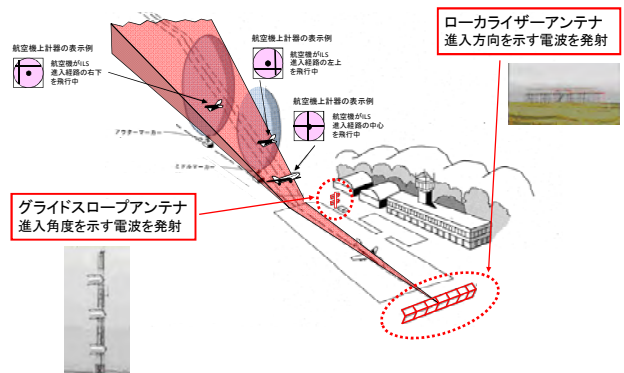
平成27年度整備箇所



※北海道開発局では用地造成を実施します

ILS双方向化事業イメージ

※ ILS (Instrument Landing System) : 計器着陸装置



着陸態勢にある滑走路に進入中の航空機に対して、指向性のある電波を放射し、夜間、悪天候等の視界不良時でも航空機を安全に滑走路まで誘導する装置です。

平成27年度（継続）

# 新千歳空港 耐震化事業（滑走路等液状化対策）

（直轄）

## 1. 概要

新千歳空港では、大規模地震災害時における緊急物資等輸送拠点としての機能確保、航空ネットワークの維持や背後圏経済活動の継続性を確保するため、空港施設の耐震化を進めています。

今年度は、地盤の液状化により滑走路等に段差が生じ、航空機の離着陸等、災害時に必要な空港機能が確保できなくなる事態を防ぐため、引き続き滑走路直下地盤の液状化対策をおこないます。

## 2. 計画内容

箇所名：新千歳空港

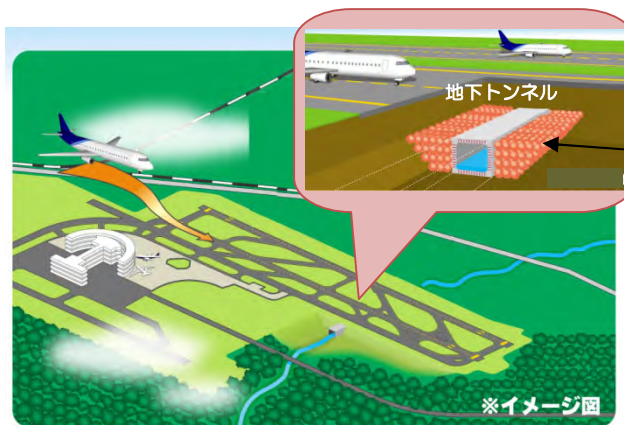
整備内容：滑走路等液状化対策

事業予定期間：平成19年度～

### ●新千歳空港の耐震化事業

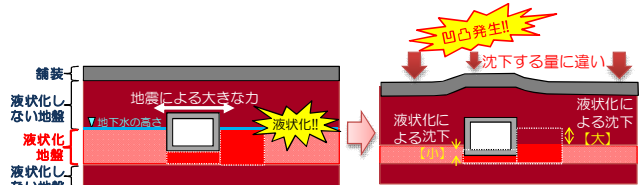


平成27年度整備箇所

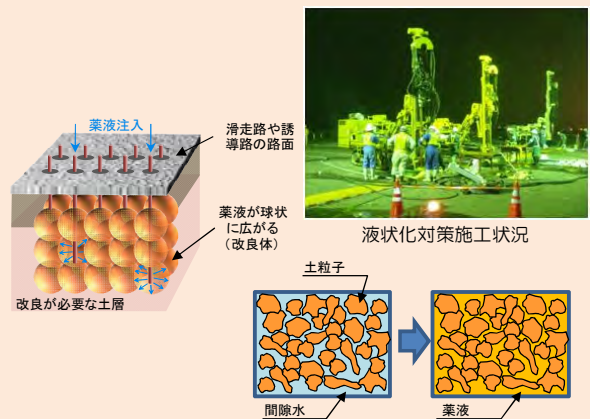


耐震化事業イメージ図

### 液状化による滑走路等の凹凸発生メカニズム



### 液状化対策工法の概要



地盤内に注入された薬液は、土粒子間の水（間隙水）を周囲に押し出しながら、球体に浸透していき固結します。液状化の原因となる間隙水を排除する事によって液状化現象を抑制します。

## 5. 農業農村整備事業

### 1 グローバルな競争力ある自立的安定経済の実現

食料供給力の強化と食にかかわる産業の

高付加価値化・競争力強化

#### ① 農地の整備

地域の農業の振興を図るため、ほ場の大区画化、暗渠排水等の農地整備や担い手への農地集積により、生産コストの低減や農業の高付加価値化を図ります。

(国営農地再編整備事業)

#### ② 農業水利施設等の保全・更新

農業水利施設等の計画的な保全・更新により、農業の生産力の確保を図ります。

(国営かんがい排水事業、国営総合農地防災事業)

#### ③ 畑地かんがい等の整備

農産物の多様な用途・需要に対応して生産拡大を行い、営農を継続・発展させる取組等を支援するため、安定的な農業用水を確保する畑地かんがい施設等の整備を推進します。

(国営かんがい排水事業)



担い手への農地集積の促進と地域農業の振興を図る国営農地再編整備事業の推進



農業水利施設等の計画的な保全・更新を行う国営かんがい排水事業の推進

### 2 地球環境時代を先導し自然と共生する

持続可能な地域社会の形成

#### (1) 自然共生社会の形成

自然と共生した持続的な農業生産の振興のため、関係者間の連携により、農地の排水整備と湿地の環境保全の両立を図ります。

(国営総合農地防災事業)

#### (2) 循環型社会の形成

農村における循環型社会の構築のため、肥培かんがい施設や水質浄化機能を有した排水施設の整備を推進し、地域資源の活用・地域環境の負荷の軽減を図ります。

(国営環境保全型かんがい排水事業)



農地の排水整備と湿地の環境保全の両立を図る国営総合農地防災事業の推進

### 1. 概要

区画整理と農業用排水を一体的に施行し、農地の土地利用を計画的に再編し、さらに、担い手の経営規模拡大を進め、緊急的に生産性の向上と耕作放棄地の解消・発生防止により優良農地を確保し、農業の振興を図ります。

### 2. 計画内容

関係市町村：瀬棚郡今金町

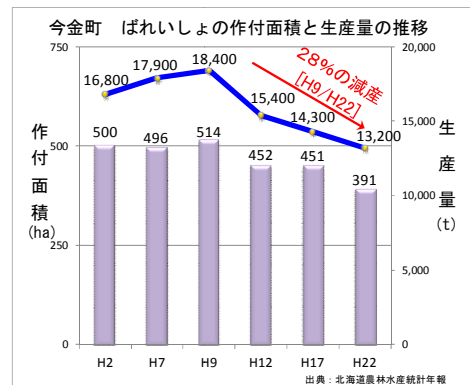
受益面積：1,536ha

主要工事：区画整理（田）792ha、区画整理（畑）221ha  
農業用排水851ha（328haは区画整理と重複）



#### 【地区の課題】

- 小区画や排水不良等のほ場条件に加え、高齢化に伴う労働力不足により、ばれいしょの作付が大幅に減少。
- 取水施設の一部(ポンプ等)は、老朽化が顕著。



段差で分断された小区画なほ場



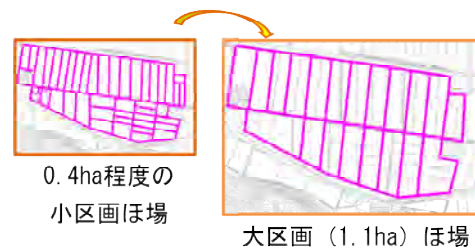
排水不良なほ場（田）



老朽化したポンプからの漏水

#### 【事業実施により期待される効果】

- ほ場の大区画や暗渠排水等を整備し、汎用化された水田におけるばれいしょ・小麦の生産を拡大。
- 効率的な大規模機械化体系を実現するため、ばれいしょで培った農業生産工程管理を他作物にも適用するなど、高品質で消費者ニーズに対応した生産と経営の安定化。



★汎用化された水田におけるばれいしょ・小麦の生産拡大  
（ばれいしょ 88ha → 107ha、小麦 54ha → 76ha）  
★効率的な大規模機械化体系を実現（労働時間の3割短縮）  
★農業生産工程管理は、ばれいしょに加えて、水稻・大豆・小麦に適用。

## 1. 概要

幹線用水路について、施設の機能保全に資する整備を実施し、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の負担軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定化を促進します。

## 2. 計画内容

関係市町村：士別市、上川郡剣淵町、上川郡和寒町

受益面積：4,215ha

主要工事：用水路（改修） 12.7km



### 【地区の課題】

○基幹的な農業水利施設は事業完了後約30年経過。一部の区間で突発的事故が発生し、農業用水の安定供給に支障。

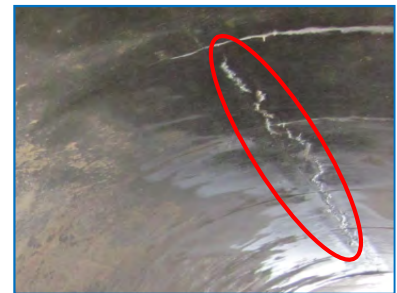
○施設の維持管理に多大な費用と労力を要する。



用水路側壁の倒壊



用水路側壁の傾壊



トンネル天端部の縦断ひび割れ

### 【事業実施により期待される効果】

○基幹的な農業水利施設を改修し、用水の安定供給による食料供給の維持、向上。

○6次産業化を契機に地域活性化及び地域農産物のブランド化の促進。



6次産業化の推進  
（越冬キャベツを使用したプリン）



側壁傾倒箇所の  
応急的な対策  
（切梁設置）



基幹的な農業水利施設の改修  
（イメージ）



## ウトロ地区 特定漁港漁場整備事業

（直轄）

### 1. 概要

ウトロ漁港は、北海道東部知床半島の斜里町に位置し、サケ・マス定置網漁業を中心とした北海道有数の水産物流通拠点漁港です。また、周辺海域で操業する漁船の避難拠点としての役割も担っています。

当漁港では、岸壁や用地の不足から漁業活動に著しい支障を来しているとともに、野天での陸揚げを余儀なくされています。

このことから、漁港内の混雑及び用地不足の解消、水産物の衛生管理対策を図るため、人工地盤や屋根付き岸壁を中心とした新ふ頭の整備を推進します。



### 2. 計画内容

計画箇所：ウトロ地区（斜里町）

主要計画施設：島防波堤330m、-3.5m岸壁334m、用地33,700㎡

全体事業費：263億円

事業予定期間：平成14年度～平成28年度



## 7. 官庁営繕事業

### 1 防災拠点となる官庁施設の防災機能の強化等

#### (1) 地域と連携した防災拠点となる

##### 官庁施設の整備の推進

地方公共団体をはじめとする様々な関係者との連携の下、大規模災害の発生に備え、防災拠点となる官庁施設の整備を推進するとともに、新たなまちづくり空間やにぎわいの創出等により、地域の活性化に積極的に貢献します。

#### (2) 官庁施設の耐震化の推進

建築物の耐震化対策が緊急の課題と位置づけられている中、官庁施設が防災拠点としての機能を十分発揮できるよう、構造体のみならず設備、外壁・建具などの非構造も含めた建築物全体として総合的な耐震安全性を確保するための整備を実施します。

#### (3) 官庁施設の天井対策の推進

東日本大震災において大規模空間を有する建築物の天井が脱落した事案が多数生じたことから定められた新たな技術基準に適合させるため、大規模空間を有する官庁施設の天井について、地震時の天井耐震対策を実施します。

#### (4) 官庁施設の津波対策の推進

防災拠点としての機能維持と行政機能の早期回復を図るため、官庁施設における津波対策を進めていきます。

### 2 官庁施設の老朽化対策

#### (1) 官庁施設の長寿命化

既存官庁施設の有効活用を図り、安全により長く利用し、トータルコストの縮減等を実現するため、老朽化の進行を防ぐ長寿命化事業を実施します。

#### (2) 既存官庁施設の危険箇所、経年劣化が著しい部位等の解消

来訪者等の安全の確保と行政サービスの円滑な提供に最低限必要な施設の性能を確保するため、危険な箇所、経年劣化が著しい部位等について、緊急的な改修等を実施します。



帯広第2地方合同庁舎 地域連携懇談会



耐震改修工事の事例



官庁施設における津波対策（イメージ図）



苫小牧港湾合同庁舎 長寿命化改修



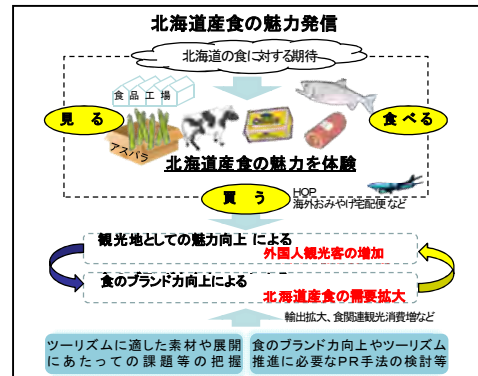
## (参考) 北海道開発計画調査

北海道総合開発計画の企画、立案及び推進に必要な調査について、平成27年度は、北海道が強みとする「食」、「観光」、「環境・エネルギー」分野等における課題の解決方策の検討を重点的に実施します。

### 1 北海道産食の魅力発信

#### 【新しい日本のための優先課題推進枠】

北海道産食の海外需要拡大等を図るため、食と観光の連携によるフードツーリズムの展開を通じた、北海道の豊かな食の魅力発信について検討を行います。



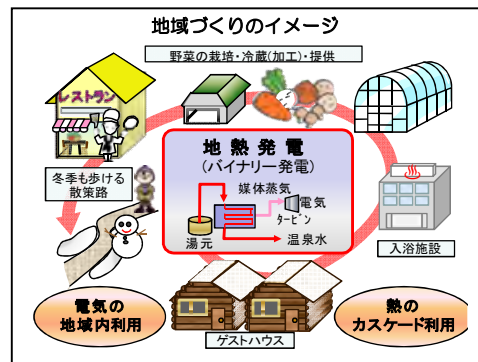
### 2 北海道における歴史・文化を活用したインバウンド観光の振興

北海道独自の観光資源を活かしたインバウンド観光需要の拡大を図るため、歴史・文化を活用した観光を推進するための観光メニューの創出や海外へのプロモーション方策について検討を行います。



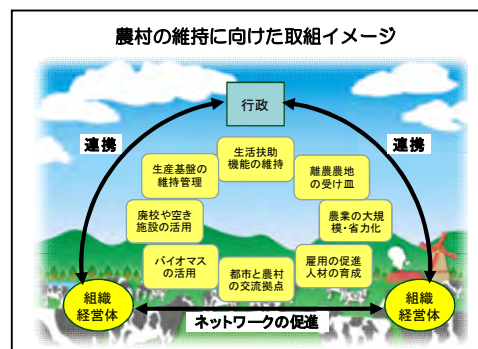
### 3 地熱等の再生可能エネルギーを活用した持続可能な地域づくり

再生可能エネルギーの中でも安定した出力特性を有し、かつ、北海道において高いポテンシャルを有している地熱等を活用し、地域固有の資源・特性を活かした持続可能な地域づくり方策について検討を行います。



### 4 人口低密度地域における農村の維持

今後の人口減少を見据え、北海道の人口低密度地域における農村の維持・活力向上を図るため、北海道の農村集落の特性を踏まえ、農業生産法人等の組織経営体に着目し、行政との連携や組織経営体間のネットワークの促進等を通じた農村の維持・活性化に資する取組について検討を行います。



(参考) 平成27年度 道路の主な開通予定

【直轄】

路線名	箇所名	開通予定	
		区間	延長(km)
北海道横断自動車道 (道東自動車道)	ほんべつ くしろ 本別～釧路	しらぬか あかん 白糠IC～阿寒IC	14.0
北海道横断自動車道 (十勝オホーツク自動車道)	あしよる きたみ 足寄～北見	くんねつが きたみにし 訓子府IC～北見西IC	12.0
国道38・44号	くしろそとかんじょう 釧路外環状道路	くしろにし 釧路西IC～釧路東IC	9.9
国道272号	かみべつぼ 上別保道路	くしろ くしろちようかみべつぼ 釧路郡釧路町上別保～釧路郡釧路町上別保	1.2
国道12号	みねのぶ 峰延道路	いわみざわ おかやまちょう 岩見沢市岡山町～美唄市峰延町	1.2
国道12・275号	なえぼ 苗穂交差点	さっぽろ ちゆうおう きた ひがし 札幌市中央区北1条東18丁目～札幌市東区苗穂町13丁目	0.4
国道230号	こがねゆ 小金湯拡幅	さっぽろ みなみ じょうざんけい 札幌市南区定山溪～札幌市南区定山溪温泉東1丁目	1.1
国道231号	おふゆ 雄冬防災	いしかり はます おふゆ 石狩市浜益区雄冬～石狩市浜益区雄冬	2.0
国道231号	しよかん 暑寒防災	ましけ ましけちよう いわお 増毛郡増毛町岩老～増毛郡増毛町岩尾	3.0
国道336号	えりひろ 襟広防災	ひろお ひろおちよう 広尾郡広尾町字ピタタヌンケ～広尾郡広尾町字タンネソ	3.0
国道337号	とうべつ 当別バイパス	いしかり とうべつちようかわしも 石狩郡当別町川下～札幌市北区あいの里	5.3
国道453号	ほんけい 蟠溪道路	だて おおたき きたゆざわおんせんちよう 伊達市大滝区北湯沢温泉町～有珠郡壮瞥町蟠溪	2.5

【補助】

事業主体	事業実施箇所	路線名	事業箇所	開通予定延長(km)
北海道	べっかいちよう 別海町	(主)ねむるなかしべつせん 根室中標津線	べっかいちよう べっかい べっかいちよう なかしゆんべつ 別海町 別海～別海町 中春別	0.9

(事業延長8.1km)

《防災・安全交付金》

事業主体	事業実施箇所	事業名	事業延長(km)	左記事業が含まれる社会資本総合整備計画
				計画名
北海道	ほんべつちよう 本別町	(主)ほんべつしほるせん 本別市幌線	0.1	防災・安全を支える道路ネットワーク強化
北海道	はこだてし 函館市	(一)もとむらえさんせん 元村恵山線	0.4	
北海道	ななえちよう 七飯町	(一)おのおおなかやません 大野大中山線	0.3	通学路合同点検対策推進による暮らしの安全・安心の確保
札幌市	さっぽろし 札幌市	(都)みなみじょうぞおり 南1条通	0.9	～人に優しいまち～を実現する道路空間の安全・安心
札幌市	さっぽろし 札幌市	(都)みや もり きた じょうぞおり 宮の森・北24条通	1.7	

《社会資本整備総合交付金》

事業主体	事業実施箇所	事業名	事業延長(km)	左記事業が含まれる社会資本総合整備計画
				計画名
北海道	きこないちよう 木古内町	(都)えきまえどおり 駅前通	0.2	国際競争力強化等に資する道路ネットワークの機能向上
北海道	しらぬかちよう 白糠町	(一)かみしよる しよる ていしやじようせん 上庶路庶路停車場線	0.6	
北海道	しん ちよう 新ひだか町	(主)びらとりしずないせん 平取静内線	1.6	道内各地域の交流・連携の深化に資する道路ネットワークの機能向上・生活基盤形成
北海道	ねむるし 根室市	(主)ねむるほんとうせん 根室半島線	0.5	